



(公社)鹿児島県診療放射線技師会

会報

平成28年9月

第124号



公益社団法人 **鹿児島県診療放射線技師会**

鹿児島市東坂元四丁目28-11
TEL 099-248-0028
FAX 099-248-0028

巻頭言 就任挨拶	(公社) 鹿児島県診療放射線技師会 副会長 太田原 美郎	1
理事就任にあたって		2
お知らせ	鹿児島県診療放射線技師会サポート登録のお願い 会長 松本 俊也	3
	永年勤続表彰候補者のお知らせ	5
	平成 28 年度秋季学術大会 第 33 回南薩地域研修会開催について	10
	第 25 回 北薩地域研修会の開催について	11
	業務拡大に伴う統一講習会開催 (鹿児島)	14
	第 33 回 市民健康まつり	15
報 告	学術奨励賞を受賞して	16
	第 3 回 鹿児島乳腺画像研究会報告	17
	平成 27 年度 霧島・始良地域研修会終了報告	18
	第 9 回 鹿児島超音波研究会報告	20
	平成 27 年度鹿児島県医療画像情報精度管理士部会報告	21
	第 38 回大隅地域研修会報告	23
	第 1 回 つながる思い in かがしま報告	28
	平成 28 年度 第 13 回フレッシュャーズセミナー開催報告	29
	平成 28 年度 春季学術大会開催報告	31
	第 10 回 鹿児島県超音波研究会報告	33
	平成 28 年度 リーダー研修会報告	34
	鹿児島県におけるモニタ品質管理に関するアンケート結果報告	41
理事会議事録		
	平成 27 年度 第 4 回 常務理事会議事録 (抄)	45
	平成 28 年度 第 1 回 理事会議事録 (抄)	50

平成 28 年度 第 2 回 理事会議事録 (抄)	55
平成 28 年度 第 3 回 理事会議事録 (抄)	57
第 95 回 定時総会議事録	62
第 95 回 定時総会資料	69
平成 28 年度 4 月～7 月 新入会員一覧	93
会員投稿 仕事とスポーツ (医) 杏林会 丸田病院 岡野 三郎	94
会計だより	97
編集後記	98
理事・監事名簿	99
会長活動記録	100
広告掲載一覧	101
広告	

就 任 挨拶

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
副会長 太田原 美郎



平成28年6月19日に鹿児島県診療放射線技師会副会長に就任いたしました太田原です。前任の新村副会長の後を引き継ぎ、松本会長を中心として鹿児島県診療放射線技師会のさらなる発展に寄与していきたいと身の引き締まる思いでおります。

さて、近年の医療の現場におきましては、患者の医療への要求は増す一方であります。急速に進むIT化のなかにおいて、医療の「安心や安全」、「質」の確保が厳しく問われており、さらに高度な「医療水準」というものも求められております。このようななか、平成22年4月には画像診断における読影の補助、放射線検査等に関する説明・相談ができるようになり、平成27年4月からは造影剤の血管内投与に関する業務、下部消化管検査に関する業務、画像誘導放射線治療に関する業務、核医学診断装置に関する業務、胸部検診時の医師の包括的指示による検査などができるようになりました。これらのことは、わたしたちの念願の一つであるとともに社会の我々に対する期待、要望の表れでもあるわけです。

鹿児島県診療放射線技師会としましては、平成27年度から日本診療放射線技師会と連携しながら業務拡大に伴う統一講習会を実施しており、本年度も3回の統一講習会が開催される予定となっております。このほか各種研究会の活動促進、専門部会の開催、地域学術大会の充実など、診療放射線技師の資質、技術の向上につながる事業が大きな柱の一つとなっております。

また、平成26年6月25日に労働安全衛生法の一部が改正されました。その趣旨は「心理的な負担の程度を把握するための検査および結果に基づく面接指導の実施等」となっており、労働の「質」の視点も加わったということになります。前述したとおり、わたしたちを取り巻く労働環境は過酷となってきております。今後は、「診療放射線技師を取り巻く職場環境」というものも課題にあげていく必要があると考えております。

たとえどのような素晴らしい目標を掲げても会員の皆様の協力なくしては何一つ実現できません。会員の皆様と共に考え、歩みながら鹿児島県診療放射線技師会の発展を目指したいと思っております。松本会長を中心として次世代を担う放射線技師の皆さんに希望の持てる組織となり、今後も継承されるような事業を行いたいと思っておりますので、皆様のご理解、ご協力を宜しくお願いいたします。

理事就任挨拶

今給黎総合病院 浮田 啓一郎

鹿児島県放射線技師会の理事をさせて頂くことになりました、今給黎総合病院の浮田啓
浮田 啓一郎です。技師歴22年目で技師としての折り返し地点を過ぎ、今後どうし
ていくか模索している中でお話しをいただきました。鹿児島県放射線技師会には私自身、
新人の頃から勉強会や様々な活動に参加させてもらうことで技師として育ててもらった
という思いがあり、いつかは恩返しをしなくてはと考えていました。今後は理事として
技師会や会員の皆様の役にたてるような仕事をしていきたいと思っております。よろし
くお願いいたします。

鹿児島大学病院 小磯 美奈

この度、鹿児島県診療放射線技師会理事を務めることになりました、鹿児島大学病院の
小磯です。

これまで鹿児島県放射線技師会の研究会や勉強会に出席させていただく中で得たことを
活かして、理事としての役割を果たしていければと思っております。また、他施設の方々
との意見交換なども含め、少しでもお役に立てるよう尽力していきたいと思えます。

まだわからないことも多く、ご迷惑をおかけすることもあると思えますが、どうぞよろ
しくお願いいたします。

県立大島病院 中山 龍一

このたび大島地域理事に就任した県立大島病院、中央放射線部の中山です。

奄美への赴任は2回目です。前回と比べ様変わりしたところも少しありますが、昔のま
まの自然もまだまだたくさん残っています。

現在、大島地域の診療放射線技師は45名です。離島故の不便な要素もあり、会員数が
伸び悩んでいる状況ですが、施設間の連絡、調整を密にし、風通しのよい繋がりを持てた
らと思っています。

平成28年度は統一講習会が全国各地で開催され、大島地域での開催も計画されていま
す。多くの技師の方々の参加をお願いします。

簡単ではありますが就任のあいさつとさせていただきます。よろしくお願いします。

平成 28 年 9 月吉日

公益社団法人

鹿児島県診療放射線技師会会員 各位

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会長 松本 俊也

鹿児島県診療放射線技師会サポート登録のお願い

会員のみなさまにおかれまして、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会（以下技師会）へ格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。技師会からの運営について協力のお願いです。

かねてより、会の活動にあたり、なるべく広く・多くの技師会会員に参画していただきとっております。特に各施設の責任者におかれましては、自施設の診療放射線技師に積極的な参加を促していただき、県民へ診療放射線技師の啓発活動を積極的にお願いしたいと思っております。

また、緊急連絡網につきまして、技師会では、以前より電話による連絡網の登録はありますが、近年では早く情報収集及び提供を行い、すぐに判断を行なわないといけない案件が多くなってきています。特に、今回のような隣県で発生した熊本大地震のような状況下では、電話での情報収集及び提供は、早急な対応がとれないことを証明しております。そこで、メールによる緊急連絡網を構築したいと思っております。

つきましては、施設ごとに下記要項で、技師会員の責任者（代表者）のメールアドレス（携帯アドレスでも可）を登録いただき、緊急時の連絡や技師会のイベントの協力依頼など、早急に連絡を必要とする事案に対しまして、今回登録されたメールアドレスを使用して連絡を取り合うこととしたいと思います。

尚、今回登録頂いたメールアドレスにつきましては、技師会の用件のみに使用し、配信時にも個人宛の配信を使用いたします。将来的には SNS の使用も視野に入れた運用も考えております。

以上、本趣旨をご理解いただき、どうぞご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

- ・登録施設は技師会サポート施設として会報等に施設名の一覧を掲載いたします。
- ・県内すべての施設を目標にします。

－登録方法－

（第 2 回目期限：平成 28 年 10 月 31 日）

鹿児島県診療放射線技師会会長 松本俊也宛（matumoto@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp）

メールにて

- ① 施設名
- ② 氏名
- ③ 責任者の場合は役職
- ④ メールアドレス（携帯アドレスでも可）
- ⑤ 所属地域名（鹿児島・北薩・南薩・霧島始良・大隅・大島）
- ⑥ 件名は必ず「技師会サポート登録」でお願いします。

技師会サポート登録施設

(平成 28 年 7 月 25 日時点)

鹿児島	鹿児島大学病院
鹿児島	社会医療法人 緑泉会 米盛病院
鹿児島	米盛草牟田クリニック
鹿児島	米盛中央駅クリニック
鹿児島	リハビリテーション病院米盛
鹿児島	南風病院
鹿児島	鹿児島赤十字病院
鹿児島	医療法人猪鹿倉会 パールラン病院
鹿児島	鹿児島厚生連健康管理センター
鹿児島	医療法人うすきクリニック
鹿児島	鹿児島市立病院
鹿児島	相良病院
鹿児島	吉田温泉病院
鹿児島	清泉クリニック整形外科
鹿児島	医療法人一誠会 三宅病院
鹿児島	国立病院機構鹿児島医療センター
大隅	びろうの樹脳神経外科
大隅	社会医療法人鹿児島愛心会 大隅鹿屋病院
大隅	県民健康プラザ鹿屋医療センター
大島	奄美中央病院
大島	鹿児島県立大島病院
南薩	敬生会 久木田整形外科病院
南薩	阿多病院
南薩	社会医療法人聖医会 サザン・リージョン病院
北薩	(医)杏林会 丸田病院
北薩	出水総合医療センター
北薩	大口温泉リハビリテーション病院
北薩	済生会川内病院
北薩	川内市医師会立市民病院
北薩	立翔会 立志病院
霧島始良	大井病院
霧島始良	国分外科胃腸科

平成 28 年 9 月吉日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
会員各位

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
会長 松本 俊也

永年勤続表彰候補者のお知らせ

日本診療放射線技師会より功労表彰および永年勤続表彰候補者の案内が来ております。候補者は①功労表彰 ②永年勤続表彰 50 年 ③永年勤続表彰 30 年 50 年の会員が対象となっております。この表彰の推薦は自己申告となっております。

功労表彰の要件はかなり厳しいですが、勤続表彰 30 年は会費納入 15 年以上の会員で、特に賞罰で問題なければ推薦できます。また勤続表彰 50 年は勤続表彰 30 年を表彰された方が対象となります。

該当されると思われる会員の方は鹿児島県診療放射線技師会として推薦いたしますので申し出て下さい。

履歴を記載して貰う必要がございますので早目に申し出て下さい。毎年、各都道府県診療放射線技師会で 4～5 名の表彰者がおります。鹿児島県診療放射線技師会でも同様な状況です。会員からの申請によって鹿児島県診療放射線技師会が推薦する形になります。皆様方からの申請をお待ちしております。

なお、表彰は日本診療放射線技師学術大会の開会式で記念品と共に表彰状が贈与されますが、特に学会場まで出かけて行かなくても後日郵送されて来るようです。本部の締め切りがありますので鹿児島では平成 28 年 11 月 11 日（金）となります。早めのご連絡をよろしくお願い致します。

永年勤続表彰（平成 27 年度の表彰者）

会員番号	会員名	施設名(勤務先)	30年勤続表彰	50年勤続表彰
09501	岡田 淳徳		1990	2015
09912	村山 光生		1990	2015
20785	穂満 信行	鹿児島大学病院	2015	
22359	太田原 美郎	鹿児島市立病院	2015	
22607	末永 浩一	鹿児島大学病院	2015	
23189	瀬戸 和人	鹿児島市立病院	2015	
24211	松本 俊也	鹿児島大学病院	2015	

永年勤続表彰 30 年の対象者の方は 1986 年以降に診療放射線技師職に就かれた方です。

ご自身の技師職年数を確認され、もし 30 年表彰のご希望があれば手続を致しますのでご連絡をください。ただし、1 度に推薦できる人数は限られますので早く連絡をくださった方を優先とします。また、勤続表彰 30 年受賞者の方で 50 年表彰の基準を満たされている方もご連絡をお待ちしております。

よろしくご検討下さい。

勤続 30 年表彰者用 「様式第 5 号」「様式第 6 号」

勤続 50 年表彰者用 「様式第 7 号」

に必要事項を記入して鹿児島県診療放射線技師会へ Fax か郵送でお送りください。

すでに 2 名（50・30 年）の方が次年度の申請をされています。

連絡先

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35-1

鹿児島大学病院 臨床技術部

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会事務局

会長 松本 俊也

TEL 099-275-5664（放射線部受付） FAX 099-275-5960

Mail: matumoto@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp

勤続30年表彰推せん書

会員番号	氏名	生年月日	勤務先名称	〒 勤務先所在地	入会年月日	平成 年度 迄の会費	免許の登録 年月日	本会の名誉を 傷つける行為 の有無
		M.T.S				完納・未納		
		M.T.S				完納・未納		
		M.T.S				完納・未納		
		M.T.S				完納・未納		
		M.T.S				完納・未納		
		M.T.S				完納・未納		
		M.T.S				完納・未納		
		M.T.S				完納・未納		
		M.T.S				完納・未納		
		M.T.S				完納・未納		

以上 名表彰されたく履歴書を添えて推せんします。
平成 年 月 日

放射線技師会会長



「様式第5号」

勤続50年表彰推せん書

会員番号	氏 名	生年月日	連絡先住所等	入会年月日	25年または30年表彰を受けた年月日	平成 年度 迄の会費	本会の名誉を 傷つける行為 の有無
		M.T.S				完納・未納	
		M.T.S				完納・未納	
		M.T.S				完納・未納	
		M.T.S				完納・未納	
		M.T.S				完納・未納	
		M.T.S				完納・未納	
		M.T.S				完納・未納	
		M.T.S				完納・未納	
		M.T.S				完納・未納	
		M.T.S				完納・未納	

以上 名表彰されたく推せんします。

平成 年 月 日

放射線技師会会長



「様式第7号」

平成28年度秋季学術大会 (第33回南薩地域研修会) 開催について

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
会 長 松 本 俊 也
南薩地域理事 野 中 康 博

拝 啓

皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会では下記日程にて平成28年度秋季学術大会開催いたします。秋季学術大会は各地区の持ち回りで開催、今回は南薩地域が担当となっており第33回南薩地域研修会も兼ねております。多数のご出席とご協力の程、宜しく申し上げます。

記

開催日：平成28年10月16日(日)

時 間：9時30分～13時

会 場：県立薩南病院 2F大会議室(南さつま市加世田高橋1968-4 電話0993-53-5300)

内 容：以下のとおり予定しています(下記時間は予定)

【1】演題発表 9時35分～

※3～4題を予定しています。演題募集の締め切りは10月1日必着となっております。

【2】基調講演 10時30分～

演題『基礎から学ぼう、放射線影響とリスクコミュニケーション～福島原発事故を踏まえて～』

講師 セントメディカル・アソシエイツ 広藤喜章先生

【3】招待講演 11時40分～

演題『平成27年川内原子力防災訓練時の避難退域時検査について』

講師 川薩保健所 技術主幹兼疾病対策係長 前田哲也先生

【4】ディスカッション 12時15分～

①川内原子力防災訓練から学ぶもの

②鹿児島県におけるリスクコミュニケーション

③これらを踏まえて、我々鹿児島県診療放射線技師の今後のあるべき姿

オブザーバー：被ばく患者受入施設(拠点病院=川内済生会病院、鹿大病院を予定)

【参加費】会員・学生は無料、非会員は2,000円、診療放射線技師以外の職種は1,000円。

【問い合わせ】公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

地域理事 野中 康博(菊野病院)0993-56-1135

学術理事 松野下直美(徳久整形外科)0993-53-4311

第25回 北薩地域研修会の開催について

鹿児島県診療放射線技師会 地域理事
岡野 三男

拝啓

皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の件につきまして下記のとおり北薩地域研修会を開催いたします。

今回は北薩地域研修会と鹿児島 X 線撮影研究会の同時開催です。

尚、研修会終了後に情報交換会（懇親会）も開催いたします。

会員の皆様には多数のご出席とご協力の程、宜しく願いいたします。

記

- 1、 日時 : 平成 28年 11月 12日 (土) 14時30分より
- 2、 場所 : いちき串木野市医師会立脳神経外科センター 2階会議室
(南九州自動車道 串木野インター近く)
- 3、 内容 : 別紙 プログラムにて

◎ 送信票にて研修会・情報交換会の出欠を E-mail または FAX にて必ず11月5日までに送信願います。

送信先 E-mail : okano@maruta.dr-clinic.jp
FAX : 0996-32-3541

(医)杏林会 丸田病院 岡野三男まで

北薩地域研修会・鹿児島 X 線撮影研究会

同時開催プログラム

日時 : 平成 28 年 11 月 12 日 (土) 14:30 ~

会場 : いちき串木野市医師会立脳神経外科センター 2 階会議室

司会 : いちき串木野市医師会立脳神経外科センター 灰床 利隆

- 【1】 開会の挨拶 (公社) 鹿児島県診療放射線技師会 北薩地域理事 岡野 三男
- 【2】 会長挨拶 (公社) 鹿児島県診療放射線技師会 会長 松本 俊也
- 【3】 研究発表 座長 : 出水総合医療センター 溝下 育男

① 「急性期脳卒中に対する当院の取組み」

いちき串木野市医師会立脳神経外科センター 恵 雄志

② 「OPE 室に於ける外科用イメージのレポートシステム構築」

出水郡医師会広域医療センター 小林 晃也

③ 「大腸 CT 検査の評価と問題点の検討」

大海クリニック 森 宥貴

④ 「MRI (SIGNA Explorer) の初期使用経験」

川内市医師会立市民病院 藺田 大樹

休憩 15:30 ~ 15:40

- 【4】 鹿児島 X 線撮影研究会 座長 : 今村病院分院 馬場 隆行

『 肩関節の極意 ~外傷あっても怖くない! 実践したくなる肩関節~ 』

① 肩関節疾患総論 (座学) 今村病院分院 岩下 昌平

② 肩関節脱臼の病態と撮影法 (座学) 今村病院分院 馬場 隆行

③ 肩外傷と手術 (上腕近位部骨折を中心に) 米盛病院 屋部 太輔

X 線撮影室移動 16:30 ~ 16:40

- 【5】 ポジショニングの実際 (ハンズオン) 16:40 ~ 17:50

X 線撮影室にてハンズオン

肩関節正面、肩関節軸位、立位スカプラ Y, 臥位スカプラ Y など

- 【6】 閉会の挨拶 (公社) 鹿児島県診療放射線技師会 北薩地域世話人 兒玉 康熙

情報交換会 いちき串木野市栄町 188-2 DAIYAME BAR ぴあ 18:30~

送信票

送信日 平成 年 月 日

送信先	〒896 - 0015 いちき串木野市旭町 83 (医) 杏林会 丸田病院 放射線室 岡野三男 迄 <i>E-mail</i> : okano@maruta.dr - clinic.jp <i>FAX</i> : 0996 - 32 - 3541
発信者	_____ <i>E-mail</i> : _____
施設名	_____ <i>FAX</i> : _____
送信内容	北薩地域研修会 ・ 懇親会の出欠について

氏 名	鹿児島県診療放射線技師会 会員 ・ 非会員	北薩地域研修会 出・欠	懇親会 出・欠
	会員・非会員	出・欠	出・欠
	会員・非会員	出・欠	出・欠
	会員・非会員	出・欠	出・欠
	会員・非会員	出・欠	出・欠
	会員・非会員	出・欠	出・欠

誠に申し訳ございませんが6名以上の施設はコピーにてお願いいたします。

業務拡大に伴う統一講習会開催（鹿児島）

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会
藤坂・藤崎

さて、公益社団法人日本診療放射線技師会では、診療放射線技師法の一部改正に伴い、診療放射線技師の業務が拡大され、厚生労働省の通知により、新しく業務範囲に含まれる業務を安全かつ正確に実施するために、全診療放射線技師を対象（非会員受講可）に業務拡大に伴う統一講習会を開催します。

つきましては、鹿児島県では、平成28年度は、下記日程で開催することとなりましたのでお知らせ致します。この機会に是非、受講されますようお願い申し上げます。近日、日本診療放射線技師会ホームページ（JART情報システム）で受講生の募集を行いますので、JART情報システムより各自お申込み下さい。尚、この講習会は、全国各県、九州地域の各県でも開催していますので、都合の良い会場でも受講できます。

記

開催目的：業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得する

日 時：①平成28年7月23日（土）24日（日）（終了）

②平成29年1月14日（土）15日（日）

③平成29年1月21日（土）22日（日）

会 場：①③ 鹿児島大学病院 ② 大島地域（未定）

受講料：会員15,000円 非会員50,000円

受講者数：各60名（定員になり次第締め切り）

内 容：DVDによる講義（視聴）及び実習指導者による実習・演習

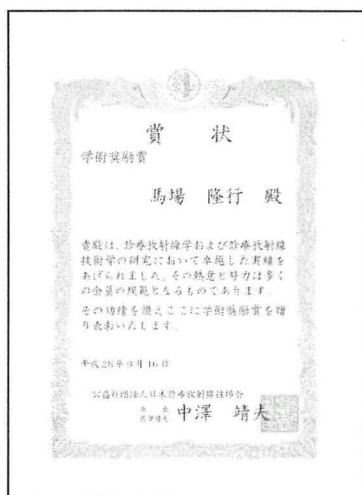
主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 共催：公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

問合せ：公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会事務局 099（275）5664 藤坂、藤崎まで

学術奨励賞を受賞して

鹿児島X線撮影研究会
今村病院分院 画像診断部 馬場隆行

第32回日本診療放射線技師学術大会で学術奨励賞の授与式がありました。受賞おめでとうございます。



去る9月16日より18日の間で岐阜市国際会議場にて開催された、第32回全国診療放射線技師学術大会にて、学術奨励賞を受賞しました。

開会式の壇上で中澤会長より直接表彰していただき、大変光栄でした。この賞の選考基準には技師会や研究会への貢献度も含まれているようです。現在、鹿児島X線撮影研究会の代表世話人をさせていただいていますが、7月に米盛病院で地区世話人を松本会長にお願いして全国X線撮影研究会が、310名の参加者で盛会にて終了しました。担当世話人の松野下さんを中心として、鹿児島X線撮影研究会の世話人が実行部隊として企画、運営、抄録作成、会計等すべて行いました。その団結力と実行力には目を見張るものがあり、一緒に運営できたことが大変誇らしく感じました。その意味でも、この賞は世話人のみんなと受賞したと感じています。この受賞を励みになお一層の技術の研鑽を積み県内のX線撮影の技術の向上に貢献したいと思います。紙面をお借りして、これまでお世話になった方、技師会理事の皆様、鹿児島X線撮影研究会の皆様、今村病院分院のスタッフの皆様、家族にお礼を申し上げます。ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。

第3回鹿児島乳腺画像研究会報告

鹿児島乳腺画像研究会
今給黎総合病院 篠原 なつき

平成28年1月22日（金）に第3回鹿児島乳腺画像研究会を鹿児島市立病院多目的ホールで開催いたしました。

参加者は43名でした。

今回は、デジタルマンモグラフィ（トモシンセシスを含む）の最新情報、そして「やさしさが伝わる接遇」ーマンモグラフィ検査におけるーという2つのテーマを設定しご講演頂きました。

昨年10月30日、31日とつくば国際会議場で開催されました第25回日本乳癌検診学会学術総会で、立ち見でも聴講できないくらい好評であった企業セミナー～デジタルトモシンセシスの製品紹介～を、そのまま本研究会で日立製作所、GEヘルスケアジャパン、シーメンス、富士フィルムメディカルの4社に講演して頂きました。

マンモグラフィはアナログ（フィルム）からデジタル（CR, FPD）に移行して昨今プラスαでトモシンセシスという技術が出てきています。トモシンセシスは管球を振り多方向から収集した投影像を構成して乳腺や組織の重なりを少なくし診断能を上げる技術です。

各社、振り角、照射回数、撮影時間、画像再構成、そして受診者の方に優しい装置を考えており、比較できとても勉強になりました。

鹿児島県にはまだ導入されていませんが、今後どのような使われかたをしていくのか動向が気になるところです。

次に、「やさしさが伝わる接遇」という内容でJALの関連会社である株式会社HALビジネス春田尚子先生に例を含めながら楽しく講演していただきました。受診者への言葉のかけ方、コミュニケーションの取り方など改めて勉強させていただきました。ナンパの極意の話もあり会場が笑いに包まれ和やかな雰囲気での講演となりました。

昨年は著名人が乳がんになり、国民の意識が高まり乳がん検診率がアップした年でした。

12人に一人の女性が乳がんになり、検診率アップは個人的にもとてもうれしいニュースですが“継続して受診していただく”ということが大事になってきます。

鹿児島乳腺画像研究会では、鹿児島県の放射線技師会でレベルアップを図り、他職種との連携を取りながら検診率アップに努めていきたいと考えておりますので、今後とも研究会へのご協力、ご参加よろしくお願いたします。

平成27年度 霧島・始良地域研修会終了報告

霧島・始良地域世話人（編集担当）

1.日程

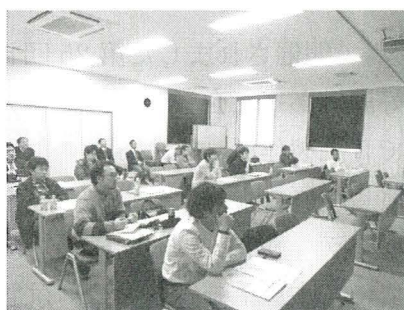
開催日：平成28年1月30日（土）

時間：15:00～17:30

会場：霧島市立医師会医療センター 大会議室

2.会内容

【Ⅰ】 開会挨拶 (公社) 鹿児島県診療放射線技師会 会長 松本 俊也



【Ⅱ】 一般演題 座長 医療法人 七徳会 大井病院 愛下 剛

1.『当院乳腺外来の現状成績 ～自覚症状を有する受診者の検討～』

霧島市立医師会医療センター 放射線室 高崎 隆太



【Ⅲ】 施設紹介

1.医療法人 七徳会 大井病院

愛下 剛



【Ⅳ】. メーカー講演

『VSRAD について』

エーザイ株式会社

安藤 悟先生



【Ⅴ】. 教育講演

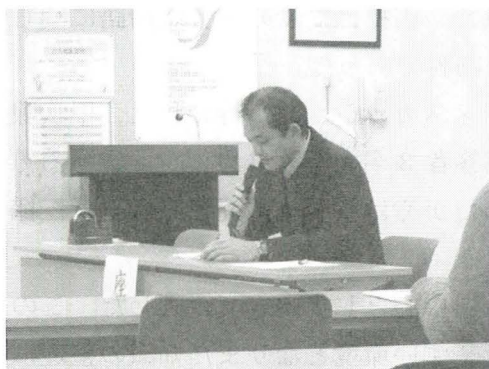
座長 国分生協病院

鮫島 保人

『コウノメゾットを取り入れた認知症の診断と治療』

坂之上生協クリニック 院長

田上 照観先生



3. 出席者 21名

《内訳》 JART 会員 17名 非会員 4名

4. 総評

一般演題 1 演題、施設紹介 1 施設、教育講演として坂之上生協クリニック 院長であられる田上 照観先生をお迎えし『コウノメゾットを取り入れた認知症の診断と治療』と題しご講演頂きました。

教育講演においては、認知症と脳萎縮の関係や脳萎縮の画像診断など、日ごろ認知症診断に接することの少ない我々放射線技師でもわかりやすく、日常診療でも役立つのではないかとと思われるご講演でした。

第9回 鹿児島超音波研究会報告

鹿児島超音波研究会
霧島市立医師会医療センター 塩屋 晋吾

平成28年2月12日(金)に第9回鹿児島県放射線技師会超音波研究会を鹿児島厚生連病院で開催した。参加者は41名(JART会員26名・非会員15名)で毎回参加されている方や今回初めて参加される方まで様々であった。

内容としては、まず南風病院の久保さんから施設紹介が行われた。日常の検査内容や件数、またそれぞれの症例の紹介があり日頃見ることのできない他施設の超音波検査風景を知ることができた。次に今村病院の上釜さんから『私の忘れられない症例』という内容で症例報告があった。術者がどこまで診療側へ検査結果の報告で踏み込むべきかという論点であり、やはり急性腹症に関しては術者がただ報告書を記載するだけでなく積極的に診療側へ情報を伝えることがより重要であると再認識できた。次にヲサメ内科クリニックの下園さんから占拠性病変の捉え方に纏わるレクチャーが行われた。占拠性病変の超音波用語に関する説明やどのような表現で記載していくのかといった内容であった。

その後に症例画像の所見の捉え方に関するディスカッションが行われた。甲状腺症例のキーポイントが描出されている画像が提示され回答者3名とディスカッションする方式であった。超音波画像と病理との比較がメインであったがやはり所見の捉え方は三者三様でありディスカッションは盛況となった。

今年度後半からの研究会はディスカッションを中心とした内容で企画した。このことで参加者だけでなくスタッフも日頃の疑問を確認しやすい環境となりまた知識の整理にも繋げることができた。来年度も参加者のニーズに応えられるような内容を企画していきたい。

平成27年度鹿児島県医療画像情報精度管理士部会報告

部会長
島 児 末 治

1月16日鹿児島市立病院多目的ホールで鹿児島県医療情報システム研究会と鹿児島県医療画像情報精度管理士部会との合同でモニタ管理に関する研修会を企画し51名(会員39名・非会員3名・メーカー9名)の参加があった。

私は、鹿児島県医療画像情報精度管理士部会の活動報告後、鹿児島県内におけるモニタ品質管理に関するアンケート結果と日本診療放射線技師会が行った全国データとの比較に関する報告を行った。アンケート結果でのモニタ管理実施率は、全国データ45%と比較し低い事が分かった。また、実施しない理由として①機器・ツールがない②時間・人が不足③知識不足等が全国データ同様、高い傾向であった。

次に「モニタ管理について」の基調講演1として「モニタ品質管理に関する規格動向」題してEIZO株式会社医療機器課の橋本憲幸氏が最新のモニタ診断のガイドラインの特徴としてCRTモニタの削除やノートパソコン及びタブレット端末での参照画像の使用法について分かり易く説明を頂いた。基調講演2の「EIZO最新モニタ品質管理ツール紹介」と題してEIZO株式会社福岡営業所の石原誠人氏によるJESRA及びX-0093モニタ品質管理ガイドラインに基づいた品質管理法に対する説明では、モニタ品質管理を見直す機会となった。垂水中央病院・南風病院・鹿児島市立病院による施設報告では、モニタ輝度測定は10分程度で終了するが施設によっては、時間外に実施する為、測定期間が延長される傾向が分かる等、活発な質疑応答が交わされ大変有意義であった。

「Radicsを使用したモニタ管理の実践」のハンズオンセミナーは、モニタ特性や管理ツールを使用した測定を各参加者が体験した。また、モニタ品質管理に関するアンケートを踏まえRadicsモニタ管理ツールを使用しない目視試験等も併せて実施した。この体験において放射線技師の専門職としての役割遂行に対する感性を高めることに繋がればと期待したい。

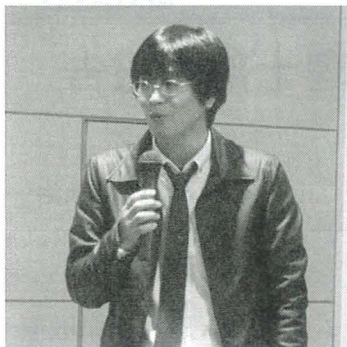
さらに鹿児島市立病院の最新放射線機器のシステム見学は大変興味深く最新機器の知見を得る機会となった。

尚、開催日が他のイベントと重複した為、研修会の分散を今後の検討課題と捉えています。

最後に今後も本会を魅力ある部会にする為の研修会を行っていきたいと考えておりますので、鹿児島県医療画像情報精度管理士部会の発展に向け皆様のご尽力をお願いします。

【 参加者 】

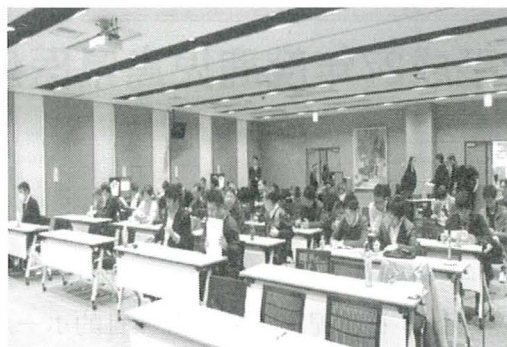
浅井 愛邦	市園 淳二	伊藤 大助	井ノ上 祐二
上床 達哉	大園 健一	太田原 美郎	大山 貴章
奥西 達也	川畑 幹成	木村 圭佑	木場 淳
西郷 康正	笹原 謙輔	佐藤 洋一	柴尾 美枝
島児 末治	園田 実郎	平 啓一朗	竹元 信秀
寺園 詩穂	永田 隆二	橋口 満	花房 豊宜
林 六計	福元 克洋	藤崎 拓郎	前床 寿隆
蓑田 辰則	室屋 純一	本村 登	本村 克朗
米重 亮馬	米田 寛彬	若松 重良	若松 恭平
平原 由美	吉長 拓	松野下 直美	



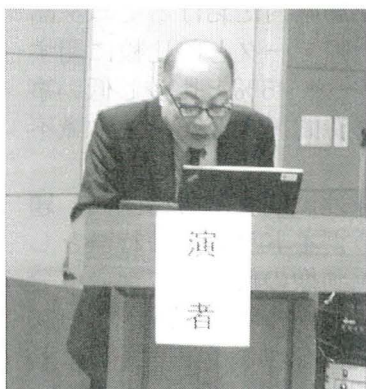
太田原代表世話人



島児部会長



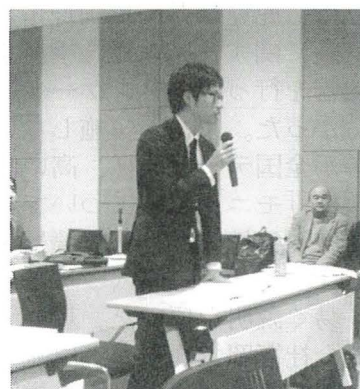
会場風景



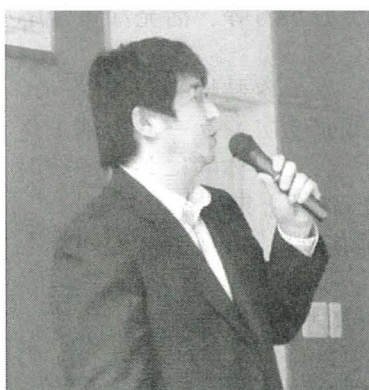
橋本氏



石原氏



質疑応答



市園技師



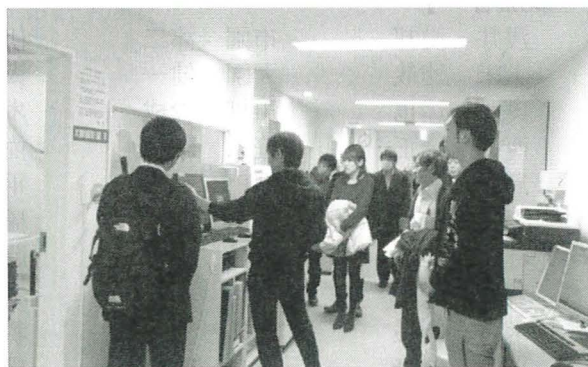
上床技師



奥西技師



ハンズオンセミナー



施設見学

第38回大隅地域研修会報告

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会
副会長（兼地域理事）島児 末治

日時 平成28年2月20日（土）
時間 14時30分 ～ 18時20分
会場 県民健康プラザ鹿屋医療センター

【 大隅地域活動報告 】 14:30 ～14:35 大隅地域理事 島児 末治

【 県技師会活動報告 】 14:35 ～14:45 鹿児島県診療放射線技師会会長 松本 俊也

【 会員報告 】 14:50 ～15:20

①第37回大隅地域研修会アンケート結果報告 鹿屋医療センター 白坂 記男

②施設紹介(3TMRI紹介を中心に) 池田病院 田之上 武士

③大隅地域におけるモニタ管理アンケート結果報告 垂水中央病院 島児 末治

【 話題提供 】 15:20 ～16:00

①「インテリジェントグリッドの紹介」 コニカミノルタヘルスケア株式会社
宮崎 芳成氏

②「次世代CT・技術の紹介（フォトカウンティングCTについて）」
株式会社日立メディコ 国内MR・CT営業部 九州MR・CT営業課 高橋 大輔氏

③「薬機法への対応について」株式会社日立メディコ 鹿児島営業所 石橋 宏樹氏

【 テーマ討論 】 16:10～17:10 座長：市園 淳二(垂水中央病院) 永山 崇臣(大隅鹿屋病院)

～ CT被ばく線量について ～

①基調講演 「施設認定とCTにおける線量管理」
鹿児島医療センター 増井 飛沙人氏

② 各施設のCTDI・DLP一覧報告：大隅地域学術世話人(市園 淳二・永山 崇臣)
協力施設(おぐら病院・垂水中央病院・池田病院・鹿屋医療センター・大隈鹿屋病院
・昭南病院)

※ 質疑応答

【 フレッシュアップセミナー 】 17:20 ～18:20 座長：熊谷 繁夫(昭南病院)

～ 急性腹症について ～ 塩川医院 山下 達也氏

第38回 大隅地域研修会報告内容

2月20日、鹿屋医療センターで大隅地域研修会を開催し参加者38名（会員29名・非会員2名・メーカー7名）の参加を得た。

会員報告は、3演題あり会場からの質問も多く他施設の現状を知る良い機会となった。

話題提供としてインテリジェントグリッドや次世代CT・技術の紹介（フォトカウンティングCT）及び薬機法への対応では、会場からの質問が多くタイムリーな内容への関心の高さが伺えた。

テーマ討論は、診断参考レベル2015（医療被ばく研究ネットワーク）と比較し64列マルチCT装置のX線出力が高い事から被ばく線量が高い傾向となった。

フレッシュセミナーでは、急性腹症の注意点や問診・理学所見より検査を進めていく重要性について症例を供覧しながらの講演で急性腹症を見直す良い機会となった。

今後も会員のスキルアップ向上を目指した研修会を企画したいと考える。

【会員報告】

- ①白坂記男学術世話人による地域研修会アンケート結果報告
- ②池田病院の田之上武士技師が3TMRIの紹介
- ③垂水中央病院の島児末治技師がモニタ管理アンケート結果（県内との比較）報告

【話題提供】

- ①「インテリジェントグリッド」
コニカミノルタヘルスケア株式会社の宮崎芳成氏によるグリッドを使用せず画像処理により散乱線ノイズ低減に伴う画質向上の報告
- ②「次世代CT・技術の紹介（フォトカウンティングCT）」
株式会社日立メディコの高橋大輔氏が従来型CTとの比較及び今後の動向
- ③「薬機法への対応について」
株式会社日立メディコの石橋氏が2012年撮影・透視用X線装置に関するJIS規格改正に伴い線量表示機能等の義務化説明

【テーマ討論】

「CTひばく線量について」

「施設認定の役割及びCTDI・DLPの考え方」の基調講演として鹿児島医療センターの増井飛沙人技師及び施設毎のCT被ばく線量CTDI報告に対する討論

【フレッシュセミナー】

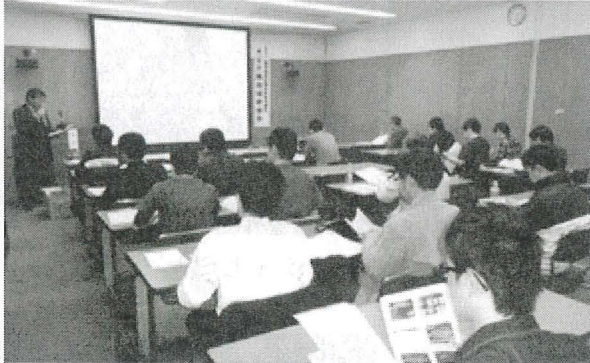
急性腹症について塩川医院の山下達也技師の講演

平成28年度 大隅地域理事・世話人

地域代表	:	島児 未治	垂水市立医療センター垂水中央病院
総務	:	深水 武	社会医療法人鹿児島愛心会大隅鹿屋病院
学術	:	牧迫 佑紀	県民健康プラザ鹿屋医療センター
学術	:	永山 崇臣	社会医療法人鹿児島愛心会大隅鹿屋病院
学術	:	熊谷 繁夫	愛誠会昭南病院
学術	:	市園 淳二	垂水市立医療センター垂水中央病院
広報編集	:	石原 剛	医療法人青仁会池田病院
福利厚生	:	山本 秀明	恒心会おぐら病院
組織表彰	:	榮村 仁史	県民健康プラザ鹿屋医療センター

【参加会員】

熊谷 繁夫	山本 秀明	増井 飛沙人
深水 武	田之上 武士	島児 未治
白坂 記男	餅原 信広	清水 香織
上堀内 善信	白木 龍之進	市園 淳二
坂本 幸望	濱崎 誠	牧迫 佑紀
中村 裕	松尾 隆志	新村 栄次
藤崎 拓郎	山下 達也	永山 崇臣
石原 剛	榮村 仁史	平山 宗郎
浮田 啓一郎	小屋 俊彰	



会場風景



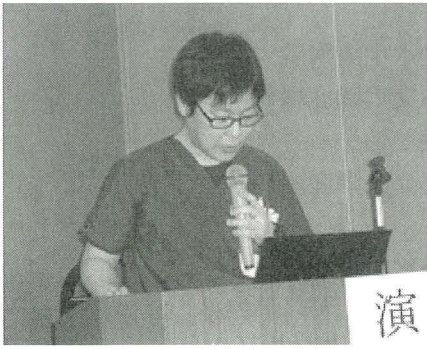
会場風景



島児副会長（兼地域理事）



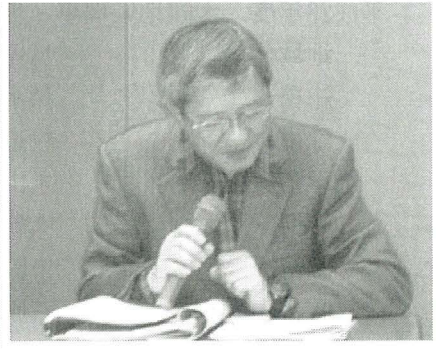
新村副会長



白坂技師



田之上技師



話題提供(上堀内座長)



宮崎氏



高橋氏



石橋氏



テーマ討論(永山・市園座長)



増井技師



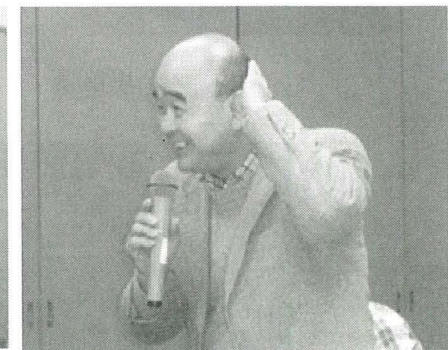
フレッシュセミナー(熊谷座長)



山下技師



質疑応答



質疑応答

38回大隅地区研修会に関するアンケート調査結果

開催日 2016年2月20日 アンケート結果報告者 白坂 記男 学術担当世話人

放射線技師出席者数 31名 アンケート回収 24名 アンケート回収率 77.4%

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	未記入	計
人数	3	7	7	7	0	0	24

勤務地区	大隅支部	鹿児島市支部	伊佐・霧島支部	北薩支部	南薩支部	その他	計
人数	19	4	0	0	0	1	24

勤務年数	5年未満	5～9年	10～19年	20～29年	30年以上	未記入	計
人数	4	2	6	7	5	0	24

1. 今回の研修会満足された企画

	大変満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	評価できない	未記入	計
①会員報告	12	9	3	0	0	0	0	24
②話題提供	10	10	4	0	0	0	0	24
④テーマ討論	16	7	1	0	0	0	0	24
⑤フレッシャーズセミナー	18	6	0	0	0	0	0	24

2. 研修会で希望するテーマ

検査

	検査方法	画像処理	読影関係	機器管理	放射線管理
CT	10	10	8	1	0
MRI	11	6	9	0	0
透視検査	2	1	4	1	1
治療	3	2	0	3	3
RI	3	1	1	1	1
血管造影	2	1	1	1	1
一般撮影	7	5	5	1	1
超音波	4	2	5	2	0

管理

医用画像	感染管理	医療安全	物品管理
5	2	7	0

コメント

- ・各施設の冠動脈CTの検査方法について
- ・CTCの適切な撮影方法
- ・各臓器毎の正常解剖、病変の読影について
- ・KYT

3. 地方開催してほしい研究会を教えてください。(重複回答可)

研究会名	CT	MRI	X線撮影	消化管	超音波	乳腺	治療
人数	13	10	5	1	4	4	2

第1回つながる想いinかごしま報告

公益社団法人 鹿児島県放射線技師会
吉村 洋一

つながる想いinかごしま ～がんとともに生きる～

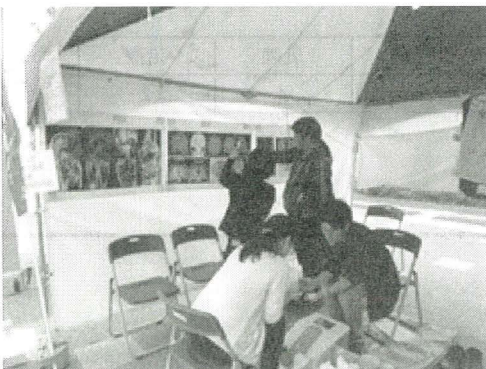
2016年5月14日（土）

鹿児島市立病院・多目的ホール、上荒田の杜公園

“治療と向き合っている患者さんのために、それを支える家族のために、旅立った患者さんを偲び、皆でつながりませんか？「鹿児島県がん対策基金」への寄付へもつなげます”

記念すべき第1回イベントへ鹿児島県放射線技師会も参加しました。医療の現場で働く私たちにとって“がん”で苦しむ患者様を見ることは避けられません。多忙な中、検査、治療で患者様に接していますが、業務を進めることに気が向けられがちになることがあります。確かに“いい仕事”をすることが患者様へ貢献することに繋がります。しかし、ひとりひとりにバックグラウンドがあり不安な毎日を過ごし、必死の覚悟で検査、治療に臨んでいるということを片隅に置いておくことも大切ではないでしょうか。イベント参加で“がん”に苦しむ方々の想いへ少しでも共感する意味を感じました。

講演会、オークション大会、ゲーム、コンサートその他多くの催しが開催されました。鹿児島県放射線技師会は骨塩定量測定やパネル展示、ウォーキングイベント等で参加しました。中でも、公園を囲むように並べられた患者様本人、支える人々、旅立った人への想い、それぞれのメッセージ缶には記す人の想いが込められとても心に響くものがありました。



平成28年度 第13回フレッシューズセミナー (開催報告)

恒例により、平成28年度の第13回フレッシューズセミナーが下記の日程・内容にて開催されました。今回も、公益社団法人日本診療放射線技師会と公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会の共同開催という形をとり、プログラムは、昨年と同様に、指定講座として、エチケット・マナー講座、医療安全講座、感染対策講座、気管支解剖講座、独自企画講座としてX線撮影検査講座の内容で開催されました。参加人数は、非会員27名(申請中含)、会員14名の計41名の参加数となり、昨年よりも増えて、今年も多くの新人の方に参加してもらえました。

今回も、セミナー終了後、軽食を準備し、時間が許す新人さんに残ってもらい簡単な自己紹介など、新人同士の情報交換の場を設けました。自己紹介をそれぞれしてもらい、顔見知りになれたのではないかと思います。今後、研修会等で顔を見かけたら積極的に話しかけてもらい、同じ職業の診療放射線技師として、同期の新人として、情報交換など親交の発展に繋がれたら有難いです。

来年度も開催予定ですので、技師長さんや諸先輩方の新人参加へのご配慮、及び会員のみなさまの参加をよろしくお願い致します。

【日程及びプログラム】

日 時：平成28年5月22日(日) 9時～15時30分

場 所：鹿児島大学医学部臨床講義実習棟 2F 「第4講義室」

参加費：無料(非会員の方、学生さんも参加大歓迎です)

内容：

- ① 9時～9時30分 エチケット・マナー講座
総務担当理事 藤坂 智史(鹿児島大学病院)
- ② 9時30分～10時20分 医療安全講座
元JART医療安全対策委員会委員長 太田原 美郎(鹿児島市立病院)
《 休 憩 》
- ③ 10時30分～11時20分 基礎講座「X線撮影」
X線撮影研究会代表世話人 馬場 隆行(今村病院分院)
- ④ 11時20分～13時 気管支解剖講座
学術担当理事 藤崎 拓郎(鹿児島大学病院)
《 休 憩 》
- ⑤ 14時～14時50分 感染対策講座
副会長 新村 栄次(今給黎総合病院)
- ⑥ 14時50分～15時20分 診療放射線技師会活動等の紹介と入会案内
会 長 松本 俊也(鹿児島大学病院)
- ⑦ 15時20分～15時40分
茶話会

【会場風景】



【参加者氏名】

宝満 美咲, 中村 亮也, 井上 美里, 下堂蘭 絢香, 尾崎 隼, 福永 芽衣, 浜田 拓也,
燃脇 孝平, 舟羽 慶彰, 田辺 亮, 竹迫 妃呂和, 門松 真央, 幸地 佳祐, 高橋 亨,
築淵 和真, 篠原 卓也, 松崎 友香, 日浅 有紗, 鹿島 真之, 小川 聖矢, 桑原 大輔,
野口 彰, 大隣 也美, 雪丸 あゆみ, 山崎 亮平, 山口 省吾, 梶島 峰尚, 西園 剛,
園田 光一, 東條 昌村, 馬場 隆行, 蓑田 辰則, 丸尾 美由紀, 井ノ上 祐也,
太田原 美郎, 藤坂 智史, 松野下 明美, 新村 栄次, 松本 俊也, 藤崎 拓郎,
坂下 周一郎 (順不同、敬称略)

平成28年度（公社）鹿児島県診療放射線技師会 春季学術大会 開催報告

平成28年度（公社）鹿児島県診療放射線技師会の春季学術大会が、平成28年6月19日（日）に鹿児島大学医学部保健学科 共通講義棟6Fインテリジェント講義室にて開催された。

今回は、会員発表、特別講演、シンポジウムを行った。会員発表は、時間の関係で、1セッション4演題となったが、それぞれの施設での研究結果や試みが発表された。特別講演は、平成28年1月から利用が始まっているマイナンバー制度について、「マイナンバー制度施行～医療分野（広義）における利活用～」と題して、日本事務器株式会社 エバンジェリスト 新谷敏郎 先生に、医療分野に特化して講演して頂いた。

シンポジウムは、「MRI検査はここまで進化した（最新撮像技術情報）～装置メーカー・撮像技師から、やさしく紹介～」と題して、今回は、外資系3社のMRI装置メーカーから、実際に撮像技師に説明指導をしているアプリケーション部門の方をお願いして、今後の展望まで含めて紹介してもらった。又、実際に最新撮像技術に接している撮像技師の視点より、鹿児島を代表する3名に、現在行っている研究テーマの紹介を含めて発表してもらった。発表時間も含め討論時間は、短く十分とはいかない面があったと思われるが、今後、MRI装置更新に向けて参考になったなどの声や、参加者数も例年になく多く100名を超えたことから、MRI検査に関して会員の興味深さを再認識した。今後、CT装置など他のモダリティの商品説明とは一歩進んだ、同様なシンポジウムの開催を考えています。

今年度、鹿児島県診療放射線技師会では、秋季学術大会を南薩地域で、来年度は、第12回九州放射線医療技術学術大会を鹿児島で開催予定ですので、多数の発表と参加をお願い致します。

「学術大会プログラム」

【会員発表】 13時20～14時10分

座長 公益社団法人鹿児島共済会 南風病院 三反田 正紀

1. マンモグラフィにおけるPRIMEモードの基礎的検討
鹿児島大学医学部歯学部附属病院 白尾 朱梨
2. Dual-Energy CTを使用した慢性血栓塞栓性肺高血圧症患者の肺区域枝別部分灌流評価
国立病院機構 鹿児島医療センター 羽田 里美
3. 造影CT検査における血管造影用カテーテルの使用経験
鹿児島市立病院 木原 悠太
4. 当院の医用画像表示用モニタの計画的な品質管理に向けての試み
鹿児島大学医学部歯学部附属病院 山下 貴大

【特別講演】 14時20分～15時20分

座長 鹿児島県診療放射線技師会 会長 松本 俊也

「マイナンバー制度施行～医療分野（広義）における利活用～」

日本事務器株式会社 エバンジェリスト 新谷 敏郎 先生

【シンポジウム】 15時30分～17時40分

座長 鹿児島大学医学部歯学部附属病院 藤崎 拓郎

「MRI検査はここまで進化した（最新撮像技術情報）

～ 装置メーカー・撮像技師から、やさしく紹介 ～」

《 装置メーカーアプリケーションより 》

- | | |
|-----------------------|----------|
| 1. GEヘルスケア・ジャパン | 前原 広治 先生 |
| 2. シーメンスヘルスケア | 今井 広 先生 |
| 3. フィリップスエレクトロニクスジャパン | 武村 濃 先生 |

《 撮像診療放射線技師より 》

- | | |
|----------------------|--------|
| 4. 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 | 岩永 崇 |
| 5. 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 | 佐々木 雅史 |
| 6. 公益財団法人昭和会 今給黎総合病院 | 浮田 啓一郎 |

「参加者」

湯越 有紀, 白尾 朱梨, 松本 俊也, 山下 貴大, 佐藤 洋一, 藤崎 誠, 新村 栄次, 坂下 周一郎, 藤坂 智史, 西 憲文, 松野下 直美, 木屋尾 祐太朗, 浮田 啓一郎, 永山 照明, 川西 義浩, 川原 美咲, 島兒 未治, 平賀 真雄, 吉村 洋一, 山口 信夫, 渡邊 義治, 中島 祐二, 岡野 三男, 大園 健一, 野中 康博, 池田 睦, 佐々木 雅史, 瀬戸 和人, 若松 恭平, 中山 龍一, 浅井 愛邦, 市園 淳二, 床波 隆幸, 西元 辰也, 富松 正明, 藤崎 拓郎, 持留 浩輔, 橋口 満, 伊藤 大助, 永田 隆二, 東 幸浩, 井ノ上 祐二, 四本 斉, 山下 友也, 西郷 康正, 三反田 正紀, 日高 稔, 高田橋 司, 熊野 純泰, 淵脇 崇史, 田畑 一文, 室屋 純一, 木村 圭佑, 小磯 美奈, 穂満 信行, 松山 芳郎, 木原 悠太, 丹羽 慶彰, 羽田 里美, 野田 一也, 前島 正, 前床 寿隆, 佐々木 崇, 西岡 大倫, 小濱 剛, 日高 浩文, 上川 智弘, 上川 翔美, 若松 重良, 平原 大助, 篠原 卓也, 池田 真一, 川野 聖也, 奥 好史, 小屋 俊彰, 泊 誠一, 瀬戸口 勲, 市川 和幸, 岩永 崇, 奥西 達也, 恒吉 雅也, 藤野 直人, 中原 武志, 本村 克朗, 米重 亮馬, 堀川 陽介, 上野 翔, 岩元 亮太, 大塚 洋和, 市原 正道, 池田 政美, 武村 濃, 今井 広, 立石 健太, 打木 ともかず, 前原 広治, 青野 亮, 貞方 弘行, 渡辺 和幸, 勝目 忠芳 (敬称略 順不同)

第10回鹿児島超音波研究会報告

鹿児島超音波研究会 霧島市立医師会医療センター
塩屋 晋吾

平成28年6月24日(金)に第10回鹿児島県放射線技師会超音波研究会を鹿児島厚生連病院で開催した。参加者は31名(JART会員21名・非会員10名)であった。

内容としてはまず霧島市立医師会医療センターの平賀さんの方から、平成28年2月19日～27日の1週間でバングラディシュに画像診断技術普及支援事業として活動されその際の報告が行われた。環境も言葉も違い何より物資が整っていない異国での奮闘記を紹介していただいた。いかに我々は恵まれた設備で医療に携われていることを再認識でき、また何よりも平賀さんのフットワークの軽さに驚かされた。

今回のメインテーマはこれまで同様、画像所見に纏わるディスカッションを主に置いたが今回はできるだけ参加者もディスカッションに入りやすいよう事前に参加者にも回答してもらいスタッフで導き出した答えと照合する形式で企画した。テーマは『肝占拠性病変の形状・境界・輪郭』について20症例を対象とした。会に向けスタッフ間でそれぞれ読影を行いスタッフとしての回答を統一しようとしたがかなりバラつきがあり捉え方の難しさを実感していたが、参加者の回答でも症例によりやはり捉え方の違いが目立つ結果でありディスカッションも白熱した。

今回のテーマを通じ、画像所見を一つ一つ捉える事の重要さや難しさを再認識できた。

また疾患が前もって分かっていたらその疾患の特徴的所見をアピールできる画像をいかに検者が作り出していくことも重要であると学び参加者にも伝わったのではないかと考える。

今後も参加者のニーズに応えられるよう、また少しでも会場全体でディスカッションできるような研究会を企画していけるよう努めたい。

平成28年度 リーダー研修会報告

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会
会 長 松本 俊也

平成28年度のリーダー及びリーダー育成研修会は、診療放射線技師として病院の中で放射線関係のスペシャリストとしてなにかできることはないか。忙しくてメーカー任せになっていないかの疑問に対して今回「メーカー任せではない装置更新時の法的な手続き」と題して研修会を企画いたしました。

既にこのような業務を行っている施設はあるかもしれませんが知っていて悪いことはないと思います。

記

日 時：平成28年7月2日（土）15:30～16:30

場 所：ホテルタイセイアネックス タイセイ2号館 2-Aホール

住 所：鹿児島市中央町4-32 TEL 099-275-1273

【教育講演】

「メーカー任せではない装置更新時の法的な手続き」

医療法人南和会 白坂病院

X線室 池田 睦先生

司会 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会長 松本 俊也

研修会に参加して

講演では、白坂病院での装置の使用室変更等についての手続きの進め方の講演内容であった。通常であればメーカーに依頼をして変更の手続きを依頼すれば済むことなのであるが、今回は、池田氏の経験を生かしての実際を講演していただきました。他の施設で手続きや労働基準局との対応をされている方から参考になる意見も会場から聞くことができる研修会であった。また、今回は急病センター対応者の研修会も兼ねておりましたので医療現場に生かされる内容であったと感じました。医療の中で診療放射線技師という職種をもっと認めてもらえるような行動を取る必要が今後は課題になっている。また、医療に外を見回しても我々の存在感がまだまだないんだと痛感する参議院選挙がつぎの日に控えている貴重な土曜日でもあった。



リーダー研修会参加者名簿

2016年8月3日

会員番号	会員名	施設名(勤務先)
48416	濱田 智太郎	今給黎総合病院
53881	浅井 愛邦	今村病院分院
55181	牧野 竜大	今村病院分院
56880	渡邊 義治	清泉クリニック整形外科 鹿児島
49901	西 憲文	鹿児島厚生連病院
46254	小磯 美奈	鹿児島大学病院
43524	淵脇 崇史	鹿児島共済会南風病院
24211	松本 俊也	鹿児島大学病院
43525	吉野 健	鹿児島共済会南風病院
54327	二間瀬 竜太	今村病院分院
56205	岩下 昌平	今村病院分院
40153	四本 斉	今給黎総合病院
26840	永山 照明	今給黎総合病院
40155	田川 伸夫	今給黎総合病院
32929	井ノ上 祐二	鹿児島共済会南風病院
37207	藤坂 智史	鹿児島大学病院
26098	藤崎 拓郎	鹿児島大学病院
42352	恵 智徳	今村病院分院
41248	藤崎 誠	鹿児島共済会南風病院
27458	西元 辰也	鹿児島市立病院
32320	隈 浩司	鹿児島市立病院
44661	伊藤 大助	社会医療法人 緑泉会 米盛病院
27001	橋口 満	鹿児島市医師会病院
35101	野中 康博	医療法人 菊野会 菊野病院
32936	平田 勝	鹿児島市医師会病院
18216	竹元 信秀	吉田温泉病院
32321	岩元 博史	鹿児島市立病院
38389	吉村 洋一	鹿児島市医師会病院
40516	坂下 周一郎	鹿児島大学病院
25571	飯伏 順一	今給黎総合病院
29708	島尻 末治	垂水市立医療センター 垂水中央病院
20786	新村 栄次	今給黎総合病院
44519	脇田 慎一	今村病院
54234	松下 啓	今村病院分院
31357	中島 祐二	鹿児島大学病院
20787	室屋 純一	今給黎総合病院
18706	池田 睦	白坂病院
48279	佐藤 洋一	鹿児島市立病院
29176	中山 龍一	鹿児島県立 北薩病院
31355	園田 隆	垂水市立医療センター 垂水中央病院
35107	石本 裕二	福岡国際総合健診センター
27454	岡野 三男	丸田病院
35108	松山 芳郎	鹿児島共済会南風病院
32319	吉見 公作	鹿児島赤十字病院
35720	日高 浩文	三宅病院
26838	西郷 康正	鹿児島大学病院

平成 28 年度リーダー研修会講演要旨 装置更新時の法的な手続き（メーカー任せにしない）

平成 28 年 7 月 9 日

医療法人南和会 白坂病院 X線室 池田 睦

1. X線装置の変更申請について

X線装置の新規導入や更新の場合、都道府県知事宛てに届け出ている病院開設許可事項が変更になります。この場合、再度、都道府県知事宛てに病院開設許可事項の一部変更届を提出する必要があります。

この一部変更届出は、医療法施行規則第 24 条の 2 に記載された 1 号から 5 号の項目のみならず、X線装置の用途や保管場所（移動型 X線装置の場合）の変更においても届出る必要があります。

今回、白坂病院において、X線装置の新設や更新ではなく、既存の移動型透視撮影装置（外科用 Cアーム）の使用場所の変更と、もう 1 台の移動型撮影装置（既存ポータブル撮影装置）の保管場所の変更並びに管理者（院長）の住所変更が生じ、各種の変更申請書の作成と遮蔽計算を行う機会がありましたのでその手順をご紹介します。これらの届出事項は先に述べました医療法施行規則第 24 条の 2 に定められた項目の一部が変更になりますので、病院開設許可事項の一部変更申請が必要になります。X線装置の届出については、設置後 10 日以内に届出なければなりません。変更の申請も同様です。

既存の装置の変更届出と新規・更新の X線装置の場合とは若干異なりますが、その変更に伴う届出様式や遮蔽計算書等は同じようなものですので参考になればと思います。

2. 申請書類の取得並びに申請書の作成について

鹿児島県のホームページより第 5 号様式その 1、その 2、その 3（病院開設許可事項一部変更許可申請書）と第 11 号様式（病院開設届出事項中一部変更届）をダウンロードします。第 11 号様式は管理者の住所変更届になります。この第 5 号様式と第 11 号様式は鹿児島県の変更許可を得るために届出ます。病院開設許可は鹿児島県知事ですので変更届も鹿児島県の許可を必要とします。この鹿児島県の許可を得るのに時間がかかりますので早めの書類の提出が必要になります。

鹿児島県の許可が下りましたら、その後次に次の様式の申請書を今度は鹿児島市保健所に提出します。第 18 号様式（病院使用許可申請書一部変更使用）、第 31 号様式（X線装置備付届）その 1、その 2、第 37 号様式（X線装置変更届）です。第 31 号様式には X線室の平面図及び側面図並びに遮蔽計算書を添付します。そして、最後に自主検査結果の届出を行います。新設の X線装置ではなく既存の装置の使用場所と保管場所の変更ですので、自主検査を行い、その結果を報告するだけで今回は使用前検査が省略されました。別記様式の自主検査報告書、電離箱サーベイメータによる実測の漏洩線量測定結果報告書及び測定図面（平面図、側面図）を X線装置毎に作成します。今回の場合は、移動型透視撮影装置（外科用 Cアーム）は漏洩線量測定結果及び室内散乱線測定結果、移動型撮影装置（ポータブル撮影装置）は室内散乱線測定結果のみ測定し、報告書にまとめて提出いたしました。

鹿児島県のホームページからダウンロードする様式は

- ①第 5 号様式（その 1、その 2、その 3）
- ②第 11 号様式（管理者の住所変更の場合）
- ③第 18 号様式

④第 31 号様式（その 1、その 2）

⑤第 37 号様式

⑥別記様式（自主検査結果の届出書）

となります。Word 形式でダウンロードできますので便利です。

これは既存の X 線装置の変更申請の場合であり、新設あるいは更新 X 線装置の申請の場合は、また異なる様式が必要になるでしょうから所轄の保健所に問い合わせてください。また、鹿児島市と鹿児島県での X 線装置の申請に対する対応が若干異なるようです。申請書類等は同じですが、鹿児島市の場合は X 線装置の新設や更新の場合の使用前検査は、必ず検査官が立ち入り、申請書通りの X 線装置が設置されているかどうか、また放射線障害の防止に関する構造設備の検証を実際に立ち入って検査します。鹿児島県の場合は書類審査を行った後、施設の使用前検査は自主検査で終わる場合もあるようです。

行政の対応が異なる場合もありますが、最初の申請書類の作成や遮蔽計算は同じですので、その点はしっかり行ってください。

3. 医療法以外の届出について

1) 労働安全衛生法第 88 条における労働基準局への届出

労働安全衛生法第 88 条では厚生労働省令で定める X 線装置を設置、移転もしくは移動する場合には、工事開始 30 日前までに労働基準監督署長にその計画を届ける事となっています。医療法では X 線装置の設置に関しては、設置してから 10 日以内に都道府県知事宛てに届ければ良かっのですが、労働安全衛生法では、当該 X 線装置の工事開始の 30 日前までに届出を必要としています。この届出は X 線装置の使用許可等には直接関係しませんが、この届出が遅れたり又は滞ると、労働基準監督署からきついお叱りを受ける事になるので注意が必要です。

4. 移動型透視撮影装置（外科用イメージ）の使用上の注意

医薬発第 188 号（平成 13 年 3 月 12 日 厚生労働省医政局長通知）によりますと、移動型又は携帯型 X 線装置の使用について以下のように指導しています。

1) X 線装置の使用に関し、「特別な理由により移動して使用する場合」とは

- ①移動型または携帯型 X 線装置（胸部集検用間接撮影 X 線装置を除く）を移動困難な患者に対して使用する場合
- ②口内法撮影用 X 線装置を臨時に移動して使用する場合

2) 保管場所について

- ①鍵のかかる等適切な保管場所の確保
- ②当該装置のキースイッチ等の管理（使用後はキースイッチを装置から抜き、別に保管する）

3) 移動型透視撮影装置の使用の制限

次の場合のみ使用が認められます。

- ①術中の病変部位の位置確認や手術直後に結果の確認を行うため、術中あるいは術直後に手術室に透視用 X 線装置を移動して使用する場合。
- ②CT アンギオグラフィーを実施するため、CT 装置を備えた X 線診療室に透視用 X 線装置を移動して使用する等、X 線診療室で使用する場合。
- ③診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置又は診療用放射線照射器具により

治療を行うべき部位を決定するために、上記三室に透視用X線装置を移動して使用する場合。

従いまして、一般病室、集中強化治療室（ICU）、心疾患強化治療室（CCU）での使用は認められていません。もし、上記の場所で使用されている場合は重大な法令違反になります。十分な注意が必要です。

さらに、移動型透視撮影装置を①の手術室以外で使用する場合は、据付型の透視撮影装置と同様な扱いをするものとして必要な届出を行うとしています。すなわち、医療法施行規則第24条の2第4号「X線装置及びX線診療室のX線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要」を担保することを証明するために、管理区域境界の規制基準を確認するための遮蔽計算を行う必要が生じます。

5. 遮蔽計算について

X線診療室の遮蔽計算評価は平成13年3月に通知された医薬発第188号に記載されており、その要綱に従って計算を行います。

遮蔽計算の対象となるX線は以下の通りです。

- ①利用線錐における一次X線の漏洩X線量
- ②散乱X線の漏洩X線量
- ③X線管容器からの漏洩X線量
- ④散乱X線とX線管容器からの漏洩X線量を合算
- ⑤使用状態の条件は、X線装置ごとの3月間の実行稼働負荷

この平成13年3月に通知された医薬発第188号が平成26年3月に一部変更になりました。ただ、遮蔽計算式は従来のもままで、使用される計算パラメーターが一部変更になっています。

主な改正点を以下に示します。

1) 放射化物の障害防止法の規制対象への追加に伴う対応

- ①放射線発生装置使用室においても障害防止法の許可を受けた放射化物保管廃棄設備を備える事を認可

2) X線診療室の漏洩線量算定評価法の技術進歩に伴う対応（遮蔽計算パラメーターの変更）

- ①X線装置の3月当たりの実効稼働負荷値表の削除（算定できない場合を除いた）
- ②実効稼働負荷算定の場合の使用管電流の使用（定格電流使用の変更）
- ③米国放射線防護測定審査会（NCRP）レポート導入による各遮蔽材料の空気カーマ率の変更詳細はリーダー研修会開催時の資料を参照してください。

以下に遮蔽計算式を示しますが、紙面の都合上詳細は省略します。

○一次X線による漏洩線量の計算式

$$E_p = \frac{X_p \times D_t \times W \times (E/K_a) \times U \times T}{d_1^2}$$

○散乱X線の漏洩線量計算式

$$E_s = \frac{X_s \times D_t \times W \times (E/K_a) \times U \times T}{d_2^2 \times d_3^2} \times \frac{a \times F}{400}$$

○X線管容器からの漏洩X線の計算式（半価層を用いる計算式）

$$E_L = \frac{X_L \times t_w \times (E/K_a) \times U \times T}{d_4^2} \times \left(\frac{1}{2} \right)^{(t/t_{1/2})}$$

この遮蔽計算式の中で

X：X線焦点から利用線錐方向1mの距離における空気カーマは、研修会資料の別紙3表1から該当する管電圧に相当する空気カーマの値を入力します（ $X = X_p = X_s$ ）。

D_t：遮蔽体の厚さt（ミリメートル）における空気カーマ透過率は、研修会資料の別紙3表2～表7から該当する遮蔽体の種類、厚さ及び管電圧に相当する空気カーマ透過率の値を入力します。

W：X線装置の実効稼働負荷は、使用電流に一人あたりの撮影時間×3ヶ月の撮影人数をかけて算出します。ご自身の施設の撮影状況で計算してください。

E/K_a：空気カーマから実効線量換算係数は、別紙3表10から該当する管電圧に相当する値を入力してください。80kV以上は1.433の数値を使用します。

U：使用係数は1.0を使用します。

T：居住係数は1.0使用します。

a：照射野400cm²の組織類似ファントムから1mの距離における空気カーマ率のXに対する百分率は別紙3表8より管電圧に相当する値を選択して、1/100して式に代入します。

F：計算する照射野の大きさです。

X_L：X線管球からの漏洩線量 1.0mGy/h=1000μGy/h（第30条第1項1号ニ）

t_w：3ヶ月の稼働時間です。実効稼働負荷から電流値で割ったものを時間単位に変換するために1/3600してください。

t：実際の遮蔽体の厚さです。

t_{1/2}：遮蔽体の大幅に減衰したX線の広いビームに対する半価層です。別紙3表9から該当する管電圧に相当する値を代入します。

d₁：X線管焦点から遮蔽体外側までの距離（m）

d₂：撮影天板面での利用線錐中心から遮蔽体の外側までの距離（m）

d₃：X線管焦点から撮影天板面までの距離（m）

d₄：X線管焦点から遮蔽体外側の評価点までの距離（m）

以上の値を資料の数値から代入すればそれぞれのX線の遮蔽体透過後の漏洩X線量が求まります。また、漏洩線量の計算はX線管が1つで利用線錐方向が1方向の場合には、利用線錐漏洩線、散乱線漏洩線、X線管漏洩線をそれぞれ計算すればよろしいですが、撮影室内に複数のX線管や多方向の利用線錐がある場合には、評価する画壁はそれぞれのX線管からの漏洩線量や各方向か

らの漏洩線量の合計になります。計算が少し複雑になりますが、それぞれに計算を行い、最後に合計して管理区域境界の画壁評価を行ってください。

また、遮蔽計算を行う上で以下の事に注意してください。

1. コンクリート密度による換算

資料のコンクリート遮蔽体の空気カーマ透過率は、密度 $2.35 \text{ (g/cm}^3\text{)}$ で計算された値です。日本のコンクリートの大部分は $2.10 \text{ (g/cm}^3\text{)}$ であるため透過率に差が生じます。従いまして密度の換算が必要です。今、使用されているコンクリート厚が 15 cm の場合は $2.10/2.35 \times 15 \text{ (cm)} = 13.4 \text{ (cm)}$ となります。この 13.4 cm のコンクリート厚で別紙 3 表 3 の値を使用する事になります。該当する数値がありませんので補完法によって数値を計算してください。

2. 散乱線による遮蔽計算式で先にも記述しましたが、 a の照射野 400 cm^2 の組織類似ファントムから 1 m の距離における空気カーマ率の X に対する百分率を別紙 3 表 8 より求めます。この表の値は百分率 (%) なので数値としては $1/100$ にして計算式に代入してください。

3. t_w は 3 ヶ月あたり稼働時間です。実効稼働負荷より計算しますが、単位は (秒) ではなく (時間) ですので、時間の単位に変換してください。

4. 実効稼働負荷の計算

平成 26 年 3 月から実効稼働負荷の計算は定格電流ではなく、実際に使用している管電流で計算する事になりましたので注意してください。

まとめ

医療機関においては、申請書類や遮蔽計算書等を作成する知識を有するのは、他の医療スタッフの中では診療放射線技師が唯一です。実際に申請を行う場合、書類作成から申請に至るプロセスを行うためには、医療法をはじめとする法令の知識や放射線管理の知識が要求されます。これらの処理を病院事務職やメーカーに全て委託するようでは診療放射線技師の資質が問われます。日々の X 線診療業務の忙しさは理解できますが、もし、委託したとしても申請書類や遮蔽計算書の細部のチェックが可能な知識を持つ必要があります。そうでなければ、間違った申請書や遮蔽計算書がそのまま公的機関に送付されてしまい、病院としての信用問題にもなります。診療放射線技師として、放射線に関するプロとしての職務を果たしていく事が重要だと考えます。

遮蔽計算は撮影室内に 1 管球、1 方向の場合は計算式に数値を代入して計算すれば容易ですが、複数の X 線管球や利用線錐が多方向の場合には複雑で面倒に感じます。とは言え、診療放射線技師であれば、自身が所属する X 線施設の遮蔽計算を 1 度は必ずご自身の手で行ってください。もし分からない事があれば池田まで遠慮なくお問い合わせください

紙面の都合上、図、表及び遮蔽計算資料は省略しました。また、リーダー研修会で使用した平成 26 年度改正の資料 (遮蔽計算パラメータ並びに改正新旧対照表) については、鹿児島県診療放射線技師会事務局に個別にお問い合わせをお願いします。事務局は対応をお願いします。

最後に、このような機会を与えてくださいました公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 松本会長に感謝申し上げます。

鹿児島県におけるモニタ品質管理に関するアンケート結果報告 ～JART・JIRA共同アンケート結果との比較～

鹿児島県医療画像情報精度管理士部会 部会長
島見 末治

1. はじめに

医療施設では、モニタ診断を導入する施設が増える中、医用モニタと汎用モニタが混在している状況である。また、医用モニタは輝度の経時劣化に伴い画像の見え方が異なってくる。

そこで、今回、鹿児島県医療情報システム研究会と共同でモニタ品質管理の実態調査に基づくモニタ管理法に関する啓蒙活動等について検討した。

2. モニタ品質管理概要

1) 目的

鹿児島県内のモニタ品質管理の実態状況とJART・JIRA共同アンケート結果の傾向を比較し今後のモニタ品質管理の普及活動につなげる。

2) 対象：鹿児島県内 JART 会員施設

3) 期間：2015年10月15日～2015年11月15日

4) 方法：郵送(郵便回答)

5) 回答施設数：138 施設中 67 施設回答(回答率 48.5%)

6) 比較データ：JART(公益社団法人日本診療放射線技師会)・JIRA(一般社団法人日本画像医療システム工業会)共同アンケート

期間：2013年1月1日～1月25日

対象：JART 会員 回答者数 1163 名

尚、比較データが JART 施設数と JART 会員数となっている為、傾向比較とする。

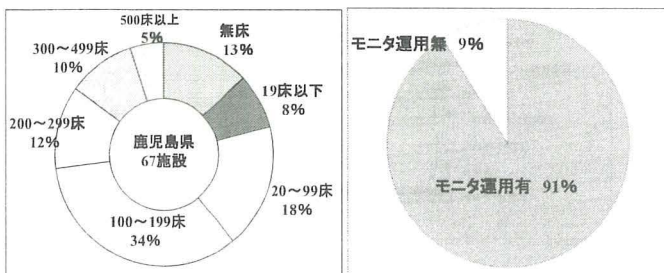
以下 J-J 共同とする。

3. アンケート結果

○各病床数分布及びモニタ運用割合

各病床数分布は回答施設 67 施設中、20～199 床の施設が 54%と過半数を占め、モニタ運用割合は 91%と高い傾向となっている。

鹿児島県内における各病床数別分布及びモニタ運用割合



問 1. 医用画像表示使用のモニタ台数

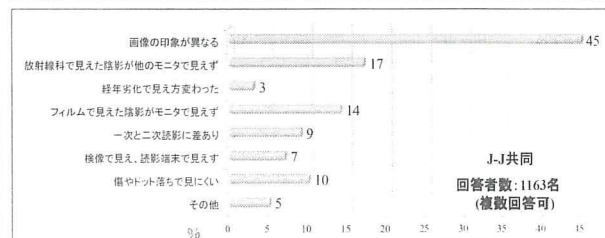
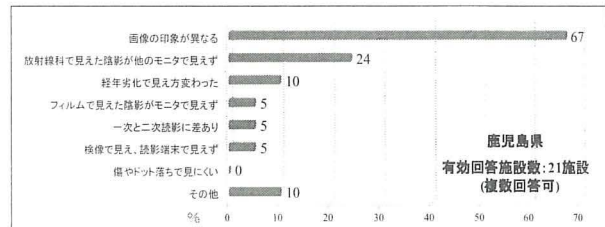
病床数に係らず医用モニタは、1M より 2M モニタ導入の平均台数が高い傾向となり 3M 以上のモニタ導入は 500 床以上の施設及び 20～99 床の専門施設が多い。無床施設は、検診センターが含まれる為、3M モニタが多い。

鹿児島県内における病床数毎モニタ保有台数
(モニタ運用 61 施設)

全体病床数	施設数	平均技師数	モニタ平均台数						
			診断用	検像用	参照用	1M	2M	3M	3M以上
無床	6	9.5	6.3	3.2	0.7	1.16	3.2	2.2	0.7
19床以下	5	1.6	2.6	1.2	2.8	0.4	1.2	1.2	0
20～99床	9	4	6.9	0.4	4.9	1.6	3.77	0.77	1.6
100～199床	23	5	16.6	2.7	26.3	6.1	12.1	1.9	0.4
200～299床	9	8.8	24	2.1	68	19.2	16.2	0.5	1.4
300～499床	6	12.8	60.1	4.3	35	24.6	49.6	1.7	0.7
500床以上	3	21.6	56	5	66.7	55	55	10	4.7

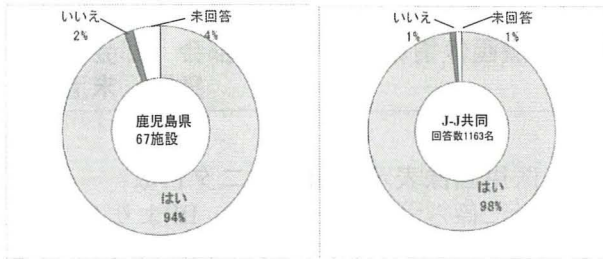
問 2. モニタ診断によるヒヤリハット経験

鹿児島県では、「画像の印象が異なる」67%、「放射線科で見た陰影が他のモニタで見えず」24%とヒヤリハットの経験があり J-J 共同でも同様な結果となった。その他の意見として「参照用モニタで診断を行っていた」、「外光等によって陰影が見えないモニタがあった」等が上がった。



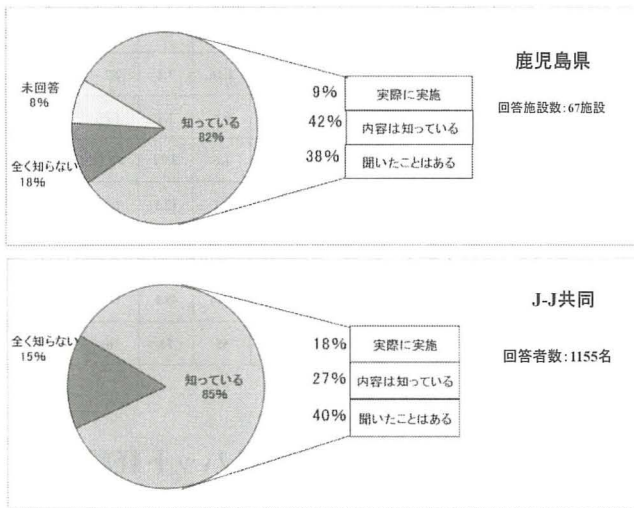
問3. モニタ品質管理は必要だと思うか

鹿児島県及びJ-J共同共にモニタ管理は必要と考えている。



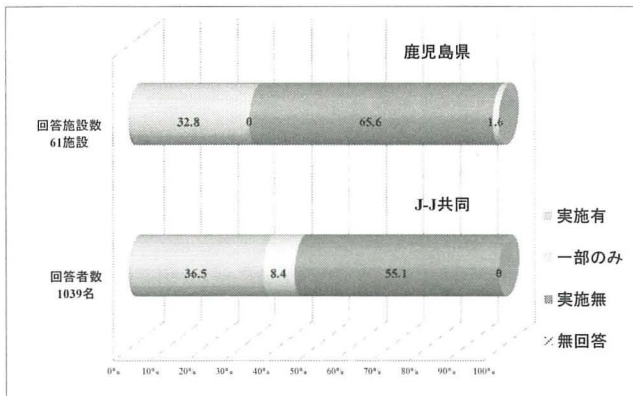
問4. QA ガイドラインを知っているか

QA ガイドラインの知名度は鹿児島県・J-J共同共に80%以上と高くなっている。鹿児島県では「実施」・「内容は知っている」51%でJ-J共同は45%であった。



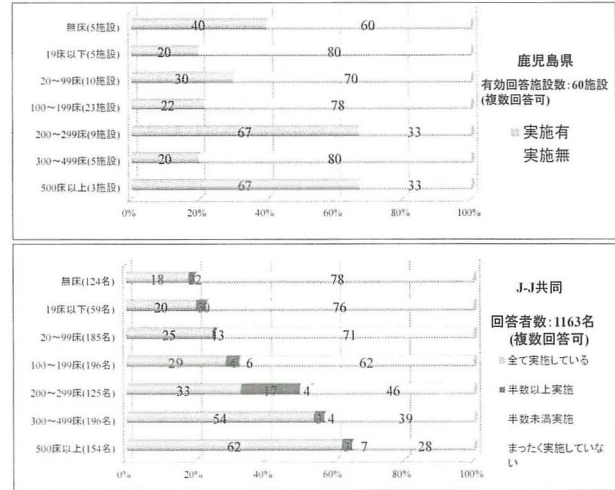
問5. ①モニタの品質管理実施の有無

鹿児島県は約33%実施していたがJ-J共同の一部のみを含めた実施約45%より少ない傾向となった。



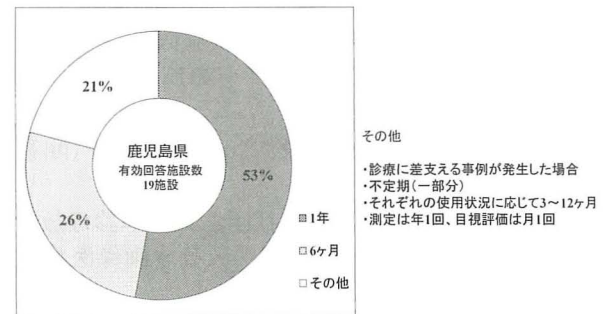
問5. ②病床数別モニタ管理実施の割合

病床数別では、鹿児島県で20~67%、J-J共同で30~70%実施していた。鹿児島県、J-J共同共、病床数が多くなる程、実施率が高い傾向となっているが鹿児島県内の300~499床施設の実施率は20%と低い。



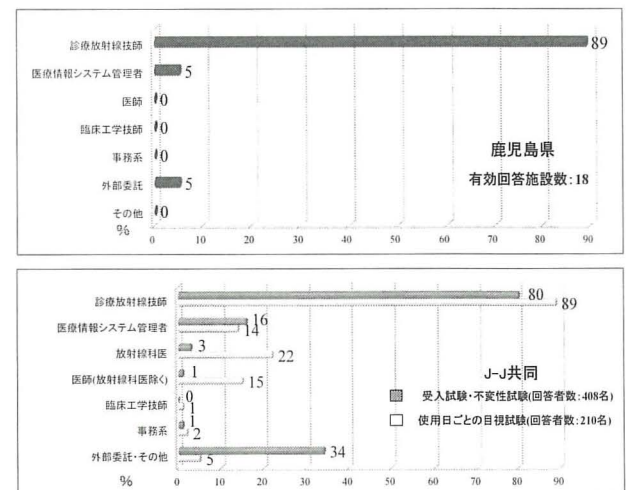
問6. モニタ品質管理の測定間隔

50%の施設が1年毎に行っており6ヶ月毎は26%と少なかった。



問7. モニタ管理の実施者

鹿児島県、J-J共同共に放射線技師が80%以上の割合で実施していた。また、J-J共同では、医師による使用日毎の目視試験実施率が高い傾向であった。



問 8. 実施している QA ガイドライン試験

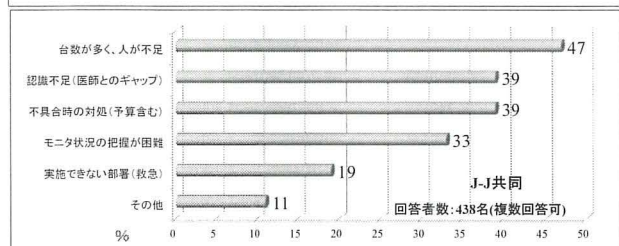
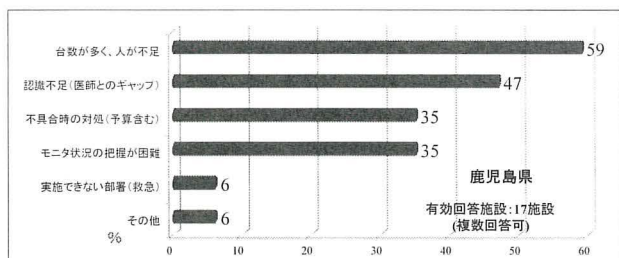
「不変性試験」8 施設(40%)、「受入+不変性試験」5 施設(25%)と 65%の施設が不変性試験を行っている。「全て」を行っている施設は99床以下の2施設(10%)にとどまった。

鹿児島県内で実施しているQAガイドライン試験



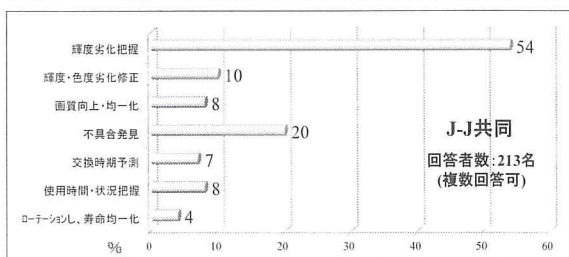
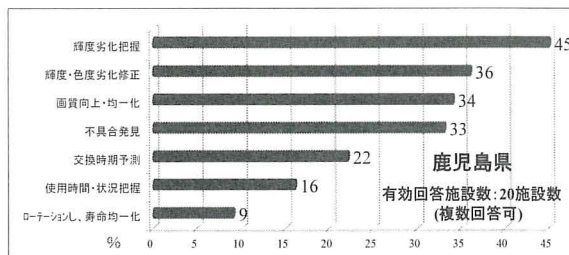
問 9. 品質管理で困っていること

鹿児島県・J-J 共同共に「台数が多く、人が不足」、「認識不足(医師とのギャップ)」、「不具合時の対処(予算含む)」等が上位を占めた。その他の意見として「技師の中にもモニタ管理について知らない、興味ないスタッフがいる」、「これから外注予定」、「技師数、勤務時間、クリニックが24時間の為、余裕がない」等があった。



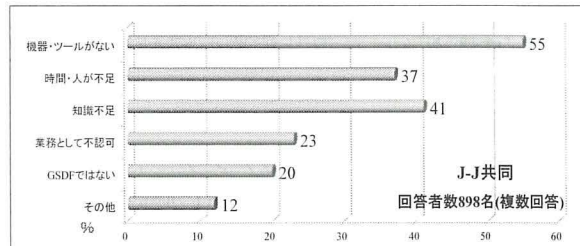
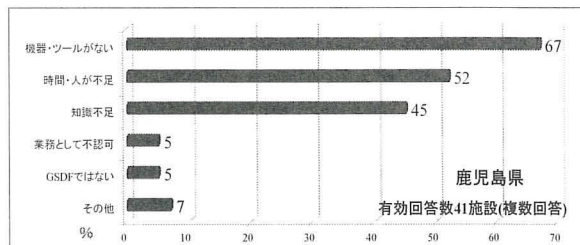
問 10. 品質管理を実施するメリット

鹿児島県、J-J 共同共に「輝度劣化把握」が過半数を占め、次に「輝度・色度劣化修正(キャリブレーション)」や「画質向上・均一化」及び「不具合発見」の意見が多かった。



問 11. 品質管理をしていない理由

鹿児島県、J-J 共同共に「機器・ツールがない」、「時間・人が不足」、「知識不足」が上位を占めた。その他の意見として「コストの問題」、「カルテ端末の管理は情報管理課の為、半月もあれば場所移動されたりして把握が困難」、「機器・ツールの校正を行っていない」等があった。



問 12. 要望・意見及びメーカー回答

- 1) 管理費用の判断、修理なのか更新なのかあまり費用が変わらない。
- 2) EIZO Radiforce MX215 は、画面上部枠に定機能が搭載されている。UX-1 との使い分けが知りたい。

(メーカー回答)

- 1) 機種・修理内容によっては、新規購入価格に近い修理価格となる場合がある。
また、輝度劣化の場合には、液晶パネル及びバックライト交換となり修理費用は高額となるので新規導入の検討が必要となる
- 2) MX215 に格納している内臓センサーと UX1 センサーは同等の精度を持っている為、通常は内臓センサーを使用する。但し、内臓センサーの精度誤差が生じた場合には、①校正した UX1 センサーで不変性試験を実施する②内臓センサーをコレーションする等、UX1 センサーを用いることが必須となる。

4. まとめ

- 1) モニタ診断によるヒヤリハットの経験は、J-J 共同アンケート結果同様に過半数が画像の印象が異なる事を経験していた。
- 2) モニタの品質管理は、J-J 共同アンケート結果の傾向と同様に必要と考えていたが実施は、共同アンケートの過半数の実施率に比べ鹿児島県では約 33%にとどまっていた。
- 3) ①機器・管理ツールがない、②マンパワー不足、③知識不足等の理由により品質管理を行っていない事が分かった。

5. 今後の課題

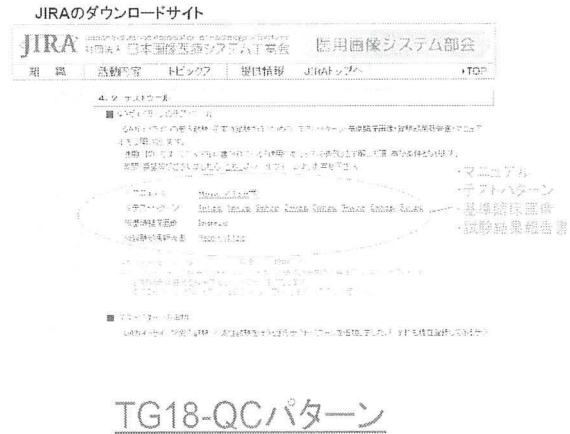
- 1) モニタの品質管理に関する啓蒙活動による意識の啓発や機器・管理ツールの導入、マンパワー不足は外部委託の検討を行う必要がある。
- 2) コスト問題に関しては、専門職としての役割遂行を目指す為に目視試験等の検討が望まれる。

【 謝辞 】

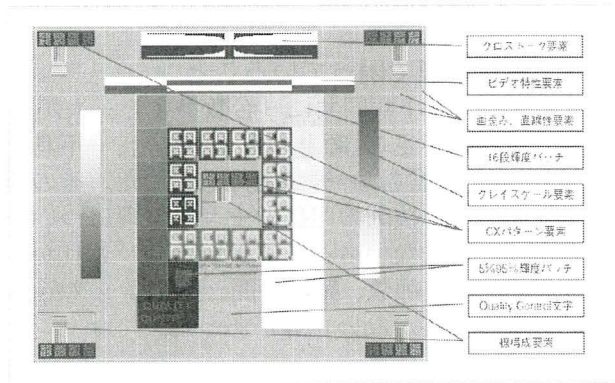
モニタ品質管理に関するアンケート調査にご協力頂いた鹿児島県内の JART 施設に深く感謝申し上げます。

※ 補足(目視試験方法)

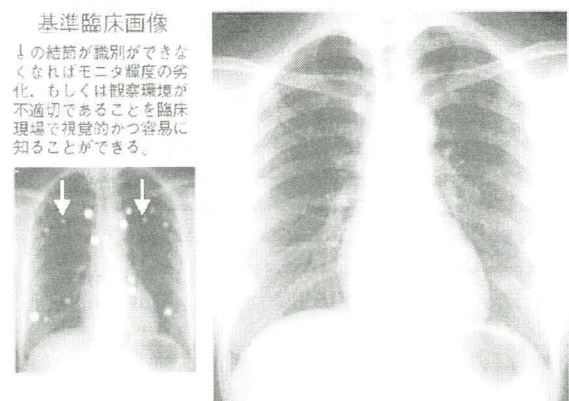
- 1) JIRA、HP (医用画像システム部会) より検査項目毎にダウンロードしモニタ端末にインストールする。
- 2) 定期的に項目毎の目視試験を行い判定基準値と比較評価を行う。



TG18-QCパターン



基準臨床画像



公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 平成27年度 第4回常務理事会議事録(抄)

日 時：平成28年2月16日（火）19時00分～21時00分

場 所：坂元事務所

出席理事：松本俊也 新村栄次 島児末治 藤崎拓郎 太田原美郎 中島祐二 佐藤洋一
藤崎誠 松野下直美 吉村洋一 藤坂智史 西憲文 渡邊義治（理事全員出席）

欠席理事・監事：宮寄信 池田睦

議 長：松本俊也

議事録署名人：松本俊也

開会：松本会長より理事の過半数以上が出席しており、第4回の常務理事会を開催が宣言された。

議題1 畦元将吾氏について

松本会長より畦元将吾氏の選挙応援に関して、配布用のチラシとサポーター申込書の説明がなされた。サポーター申込書については選挙協力いただける会員等の氏名を記入していただくように指示がなされた。

また、併せて、選挙当日の投票用紙候補者名の欄に候補者の氏名を書いて頂けるようお願いする旨の話もなされた。

→全員賛成で承認された。

議題2 平成27年度診療放射線技師給与の動向に関する調査協力をお願い

松本会長より平成27年度診療放射線技師給与の動向に関する調査依頼がJARTから来ている旨の話がなされた。調査協力した会員は社会奉仕活動名目で10カウントが付与されるとのことだった。

JARTのホームページからも調査協力が可能であるので、各施設の会員にも協力要請していただくように指示がなされた。

→全員賛成で承認された。

議題3 平成28年度行事予定について

松本会長より、28年度年間行事予定について説明がなされた。

- ① 現在、全国・九州地域・県事業の予定を入れている。ここに地域研修会、各種研究会等の予定が入ってくることとなり、予定が重なってしまうことも起こり得る、研究会予定の重複はある程度は許容することとする。
- ② 全国規模および九州地域規模の行事は動かすことができませんので、それを踏まえ可能な限り規模の大きな予定には重ねないようにしてください。

- ① 5月14日（土）チャリティーイベント『つながる想い in かがしま〜がんとともに生きる〜』
藤崎（誠）理事より、チャリティーイベント参加についての説明がなされた。
昨年までドルフィンポートにて『リレー・フォー・ライフ・ジャパンかがしま』が開催していた『つなげよう！命のリレー』が今年は諸般の事情により、主催者・企画名称・開催場所が変更され『つながる想い in かがしま実行委員会』主催の『つながる想い in かがしま〜がんとともに生きる〜』というイベントを鹿児島市立病院にて開催することとなった。
企画内容は未定部分が多く、講演会やキャンドルウォークを予定しているとのこと説明された。
松本会長よりイベント参加にあたって県技師会の役割についての質問がなされ、藤崎（誠）理事より、昨年好評だった骨密度測定をお願い致しますとの上申がなされた。
松本会長より、本イベントについて県技師会が参加することについて採決がなされ、全会一致により昨年同様、県技師会のイベント参加が可決された。
太田原理事より、1F講堂（多目的ホール）は300名収容は難しく、雨天等で参加者・スタッフが全て屋内に入るような状況を十分検討した上での企画立案をした方が良いとの懸念が示され、藤崎（誠）理事より、講演会等も聴講人数の制限をかける等の対策を今後検討して参りますとの回答がなされた。
- ② 5月22日（日）フレッシュャーズセミナー
松本会長より、JARTに届け出が必要なため、この日程ですでに届出を済ませた旨の説明がなされた。また、今後は、講師招聘を検討する旨の説明がなされた。
- ③ 7月 リーダー研修会
松本会長より、全国規模の学会等が7月に集中しているため、例年土曜日に開催されているリーダー研修会を7/3（日）に予定する旨の説明がなされた。
松本会長より、本案に関して採決がなされ、全会一致によりリーダー研修会を7/3（日）に開催する事が決定した。
- ④ 日程未定 統一講習会（奄美大島開催）
藤崎拓理事より、今年度、奄美大島にて統一講習会を開催する予定となっている旨の説明がなされ、松本会長より、年度の後半に企画を予定し、今後日程を検討する旨の説明がなされた。
また、講師の手配について進捗を進めるよう指示がなされた。
- ⑤ 6月19日（日）第95回鹿児島県診療放射線技師会総会
松本会長より、総会の当日に春季学術大会を併催する旨が説明された。内容としては近年、シンポジウムを実施していないため、MRIのシンポジウムを企画すること、それに伴い基調講演（市民公開講座）等を割愛する可能性があること、一般の演題発表は例年同様に募集することについて説明がなされた。
- ⑥ 12月 レントゲン週間
松本会長より、内容を一新する旨の案が出され、島児副会長が28年度のレントゲン週間の取りまとめを行うよう依頼がなされた。また、昨年開催した学生対象の市民公開講座は、好評だったため、別企画として年度行事に残す方向での説明がなされた。
→以上、全員賛成で承認された。

議題4 合同理事会について

松本会長より合同理事会（県技師会理事と各研究会、各分会、さくら RT 代表が出席）を3月27日（日）に開催予定との説明がなされた。

それに先立ち以下の内容を全理事が議論した。

- ① 『研修会参加費』について、他県技師会の運営に倣い今後は、技師会会員 500 円、非会員 2000 円を徴収することに対する議論
- ② 各研究会・各分会・さくら RT のうち、どの範囲まで参加費を値上げするかについての議論
- ③ メーカー協賛（会場費用）について許可するか否かの議論
- ④ 診療放射線技師以外のコメディカルが参加した場合の参加費徴収の有無についての議論
- ⑤ 県内の会員（本土の技師と離島の技師）について、研修会等の参加に関する不平等の是正についての議論がなされた。

①については、JART の方針も概ね、非会員と会員の参加費を3倍程度に設定しており、また他県の運営も同様としていることから技師会会員 500 円、非会員 2000 円を徴収することと結論が出された。

②については、各分会・さくら RT とともに JART が主体となって運営している会であり、既に技師会年会費を支払っている点、資格維持（3 分会）に対して各会員が 15,000 円ほどの維持費用を捻出している点が挙げられ、参加費を無料とする旨、また各研究会に関しては上記の通り会員 500 円、非会員 2000 円を徴収することが採決により決定した。

③については、規約に『会場費は協賛メーカーが拠出する』と明記することで協賛を容認するとの旨が決まった、詳細に関しては各研究会の方針を尊重することと結論が出された。

④については、本議案が『会員と非会員の不公平感の是正』が目的であるため、コメディカルは一般扱いとし、参加費は無料でも構わないとの結論が出された。

⑤については、28 年度以降の県技師会事業として、研究会を録画して各地域に配布する事や TV 会議（スカイプ等）の設備を利用して多元中継で研修会・研究会を開催する事を検討していくこととなった。

上記①～⑤について松本会長より採決がなされ、全会一致で議案が可決された。

また、松本会長より、合同理事会において上記内容が受け入れられなかった場合や、参加費値上げ案が廃案になった場合は、技師会年会費の値上げを検討する方向となることの含みを持たせた旨の説明がなされた。

議題5 九州地域放射線技師会理事会（平成 28 年 2 月 13 日 土）について

①九州放射線医療技術学術大会について

松本会長より、先日開催された九州地域放射線技師会理事会（以下、九州理事会）において、県技師会年間行事に関わる部分について報告がなされた。

来る平成 29 年（2017 年）に九州放射線医療技術学術大会（以下、九州学術大会）が鹿児島（宝山ホール）にて開催される予定とのことで、技術学会が主催、大会長は鹿児島大学病院の西郷康正技師長、実行委員長は太田原理事が就任される旨の内容が語られた。

また、九学の実行委員については県技師会役員（地域理事も含めて）から選出する旨について協力依頼がなされた。

② 平成 28 年度九州地域放射線技師会 役員を選出について

松本会長より、平成 28 年度九州地域放射線技師会の会長は大分県の江藤氏に決定致しとの報告がなされた。また、鹿児島県からは監事職を選出することとなり、採決がなされ、全会一致により、島見副会長を擁立することが決定した。

議題 6 その他について

鹿児島市夜間急病センターの運営について、下記の内容が議論された。

- ① 新規登録者について
- ② 既存勤務者の更新条件について
- ③ 登録者の研修（年 3 回程度）について

①について、登録要件が不明確なため条件の整備がなされた。内容については、今後精査した後決定とするとのことであった。また、新たに 4 名の勤務希望者が応募しているとのこと、人数制限は 23 名程度（現在 21 名）であるが、新規応募者 4 名について採用する方向で勤務研修を実施する事が決定した。

②についても明確な更新要件が整備されていなかったため、渡邊理事が作成した草案を基に今後検討していくことが決定した。

③については、今後研修会参加を義務付けること。また、参加時の出欠に関して、研修会などの部分まで参加したことで、当日参加とみなすかについても十分検討し、他研究会との併催とした場合、当該研究会の意向も十分協議した上で企画・開催する事が議論された。

→全員賛成で承認された。

報告事項 1 統一講習会（平成 28 年 1 月 23 日 24 日）について

松本会長より、統一講習会の実施報告がなされた。

当日は大雪のため、後半の内容を中止したとのこと。中止した内容の再履行については該当者 20 名のうち既に 16 名（残り 4 名）の会員が再履行を終了しているとの報告がなされた。また、残り 4 名については、他県技師会にも依頼して九州地域での再履行を可能とした。

報告事項 2 秋季学術大会 大島開催について

松本会長より、大島大会参加報告がなされ松本（会長）と新村副会長、藤崎（拓）理事が出席したとの旨が報告された。

今回は救急医療がテーマとなっており、新村副会長も緊急 CT について講演した。

併せて、県立大島病院救急部の原医師、りんくう総合医療センターの坂下先生にも貴重な講演をいただいたとのこと。

坂下先生に置かれては前日の金曜日にもてポータブル撮影の講習会を開催頂いたとの報告がなされた。

最後に、来年の大島開催についても理事ならびに各施設会員の出席の協力を依頼がなされた。

他に検討事項はなく常務理事会が終了となった。

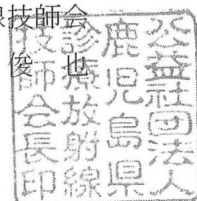
開会：松本会長より全ての議事が終了し、常務理事会の閉会が宣言された。

議事録（原本）の内容と相違ありません。

平成 28 年 2 月 18 日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会 長 松 本



公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 平成28年度 第1回理事会議事録(抄)

日 時：平成28年5月22日（日）14：30～16：00

場 所：鹿児島大学病院 第2臨床実習室

出席理事：松本俊也 新村栄次 島兒未治 藤崎拓郎 中島祐二 太田原美郎 岡野三男
藤坂智史 吉村洋一 藤崎誠 松野下直美 佐藤洋一 平賀真雄 坂下周一郎
野中康博 田畑一文 渡邊義治

出席監事：池田睦

欠席理事：西憲文 宮寄信監事

議事録署名人：松本俊也 池田睦

○開会

松本会長より理事の過半数以上が出席しており、平成28年度第1回の常務理事会の開催が宣言された。

議題1 線量計購入について

松本会長より、被曝線量計の購入に関して検討事項など、下記の内容が説明された。

- ・ 県民の被曝線量軽減を目的として被曝線量の測定を県技師会の新事業として立ち上げたい。
- ・ メーカーは東洋メディック社製の線量測定器（約40万円）の新規購入を検討中
- ・ 線量計の運用方法については、放射線管理支部会の講習を各地域で実施して受講済みの施設へ貸し出し、当該施設での被曝線量測定に役立てて欲しい。

とのこと。また、池田監事より、昨今の管理支部会の活動がやや停滞しているため、こういった事業を契機に部会の活動量を充実してほしいとの要望や、JARTも基準にしているJ-RIME（医療被ばく研究情報ネットワーク）から医療被曝線量の最新値が報告されているのでこのデータを活用し、鹿児島での線量測定の結果と総合的に比較してはどうか？とのアイデアが出された。

松本会長：他にありませんか、ないようであれば、議題1 線量計購入について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

議題2 決算・予算総会について（6月19日）

①第95回定時総会

藤坂理事より、第95回定時総会の運営について説明がなされた。

- ・ 開催日 6月19日（日）
- ・ 場 所 鹿大 共通講義棟6F インテリジェント講義室（総会等）およびマルチメディア室（控室）
- ・ 11：00～12：30まで補欠選挙を含む定時総会を開催
- ・ 議長団正議長・副議長は当日、立候補が出なかった場合のために予め内定者を準備する。
正議長は未定だが、副議長は床波隆幸氏（出水郡医師会広域医療センター）に内定した。
また、総合司会は川原美咲氏（今給黎総合病院）、選挙管理委員は永田選挙管理委員長にお願いしているとの事であった。

②総会次第・配置図について

藤坂理事より、総会次第について説明がなされた。当日の机等の配置については、部屋の広さによって、理事 18 名分のテーブルを置くスペースが確保できない事が予想され、状況によって変更するとのことであった。

③平成 27 年度決算総会事業報告について

藤坂理事より平成 27 年度決算総会事業報告の内容について説明がなされた。内容については、各地域・各研究会等の代表に確認済み。その他の事業に関しても池田監事の監査を受け了承いただいたとのことであった。

④役員選挙について

藤坂理事より役員補選について説明がなされた。

⑤決算・予算書について

中島理事より、決算・予算書について説明がなされた。貸借対照表および正味財産増減計算書より、今年度の収入と支出の差額が現金ベースで 688,149 円のマイナス。また、減価償却費 979,336 円であった。(内訳は事務所の建屋やノート PC、電離箱サーベイメータ)。よって 313,057 の黒字の見通しとなるとのことであった。今年度黒字になった要因は行事をある程度セーブして運営できたことによるものであるとのことであった。

また、松本会長より、減価償却を加味した場合黒字であるが、現金ベースにて黒字化(±0 程度で良い)にし、県技師会の運営を安定させるためには、やはり、先日の合同理事会において協議された研究会参加費の増額が必須であるとの内容が語られた。

併せて、中島理事より 28 年度の予算書案にて、来年度は研究会の参加費増額を見込むことで前述のとおり、安定運営していきたいとの内容が語られた。

松本会長：何かご意見などありませんか、ないようであれば、議題 2 決算予算総会について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

議題 3 春季学術大会について

藤崎(拓)理事より、春季学術大会の概要について説明がなされた。

- ・開催日 6月19日(日)第95回定時総会終了後に開催する
- ・場 所 鹿大 共通講義棟 6F インテリジェント講義室(総会等)およびマルチメディア室(控室)

・13:20～ 会員発表

会員発表枠は5演題(現在2演題がエントリー)で受付締切りの6月1日後HPへアップする

・14:30～特別講演

テーマ 「マイナンバー制度施行」～医療分野における活用法～

講 師 日本事務機器株式会社 事業推進本部エバンジェリスト 新谷敏郎氏

座 長 松本会長

・15:30～17:40 シンポジウム

テーマ 「MRI 検査はここまで進化した最新技術 ～装置メーカーと撮像技師からやさしく紹介～」

座 長 藤崎拓郎理事

シンポジスト GE社 シーメンス社、フィリップス社のアプリケーション(診療放射線技師)

撮像技師シンポジスト 鹿児島大学病院から岩永氏、佐々木氏、今給黎総合病院から浮田氏に内定最後に松本会長より、久しぶりにシンポジウムを開催するので、活気のある討論を期待したいとの旨が語られた。

松本会長：他にありませんか、ないようであれば、議題 3 春季学術大会について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

議題4 リーダー研修会について（7月3日 →7月9日に変更）

①内容について

松本会長より、リーダー研修会の内容について説明がなされた。

- ・開催日 7月3日（日）から7月9日（土）に変更となった。
- ・開催場所 鹿大 第2臨床実習室
- ・講師 池田睦 前鹿児島県診療放射線学会会長
- ・テーマ 「メーカー任せではない装置更新時の法的手続き」

当日の内容について、講演をもう一つ追加するか？追加するのであれば同様なテーマにするか等が議論されたが、議論がまとまらず、池田前会長の講演を基本線として6月中に再協議することとなった。

②開催日について

松本会長より、日程について最終確認を行いたいとの意見が出され、日曜日の開催よりも土曜日開催の方が会員は参加しやすいのではないか？との案が多数出されたため、技師会ニュースの年間予定表に3日（日）で発信したが、やむなく7月9日（土）の開催となった。

開催日変更について採決がなされ、賛成多数にて開催日の変更が承認された。

松本会長：他にありませんか、ないようであれば、議題4 リーダー研修会について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

議題5 外部講師の懇親会参加費について

島児副会長より、外部講師の懇親会参加費について明確な拠出基準がないため、理事会にて決定したいとの要望が出された。

松本会長より現在の状況が説明された。

- ・地域研修会・・・県技師会が補助（負担）
- ・三部会・・・発生事例が乏しく不明
- ・研究会・・・未定（現在、請求分は補助している）

また、平賀理事より、懇親会を開催する場合、外部講師として招聘している以上参加費を講師に出していただくのは失礼ではないだろうか？参加者全員で分割負担するのはどうだろうかという案が出された。長い協議の中で、研究会のメーカー協力の可否や講師の交通費等の議論も併せてなされたが、結論を出すに至らず、次回理事会への継続審議となった。

最後に、池田幹事よりメーカーに協力いただいても公的に問題がないという確証を県学事法制課や法務局に伺い、後々監査等で指摘されることがないように運営するべきであるとの意見が出された。

議題6 会員種別について

藤坂理事より、仮会員（技師会加入の意志があるが、会費を納入していない）の扱いについて現状報告がなされた。現時点では、入会の申請中でまだ会費を払っていないため会報等の配布物は送付していないが、その他は会員と同等に扱っているとのこと。

現在15名ほどの仮会員がいるが、9月30日までに入金しなかった場合は仮会員を取り下げて非会員となるため、入会希望時に9月30日までに振込旨を改めて説明するように松本会長より指示が出された。

また、佐藤理事より、現時点での会員数についてご報告がなされた。

- ・正会員数 464名（前年15名増）
- ・仮会員 15名
- ・今年度新規入会者 4名

議題 7 その他について

①各理事の活動報告について

藤坂理事より、理事の会務活動報告書について説明がなされた。

また、松本会長より、現役員で1年間会務を遂行してまいりました。各理事ができなかった企画等もあると思いますので、今後は報告のみにとどまらず、目標を立案して会務の全体像を把握していただきたいとの指示が出された。

②あぜもとしょうご氏について

松本会長より、現在あぜもとしょうご氏のサポーター登録は 15,000 名分と伸び悩んでいて。鹿児島からは 300 名ほどしか登録がされていないとの報告がなされた。7月の選挙に向け、サポーター登録を改めてお願いしたいとの要望が出され、理事全員は再度働きかけを行う旨を周知した。

③夜間急病センターについて

渡邊理事より、新規勤務者の研修を 3 名実施したとの報告がなされた。また、4 名の応募があったが、残り 1 名はポイント不足のため、条件を満たした後、次回理事会での承認をお願いしたいとの要望がなされた。

松本会長より、3 名の勤務者の勤務参加について採決がなされ、全会一致にて新規勤務者 3 名の加入が承認された。

④レントゲン週間について

島児副会長より、レントゲン週間の企画について現状の進捗状況の報告がなされた。

現在、ピンクリボンとの共催を検討しているが、先方との詳細な協議はまだできていないとのこと。運営のイニシアチブ（主催、共催）についてもまだ未定とのことであった。

藤崎（拓）理事より、運営に関して多額の供出金が発生するようであれば技師会運営に支障をきたす事も懸念されるため、供出金等が発生する恐れがある場合は連絡頂きたいとの要望がだされた。

⑤統一講習会について

藤崎（拓）理事より、7月23日（土）24日（日）に開催予定の統一講習会について説明がなされた。前回、大雪にて受講できなかった方も併せて参加していただきたいので理事への周知をお願いしたいとの要望が出された。

また、大島の方についても別途2月に開催予定ですが、参加が可能であれば7月受講も検討下さいとのことであった。

⑥鹿児島県診療放射線技師会サポート登録について

松本会長より、5月に発刊した技師会ニュースにて、お願いしたサポート登録について未だ18施設からしか登録が進んでいないとの報告がなされた。またこの試みは、先日の熊本地震など、災害時の緊急連絡や、喫緊の課題・問題についてもタイムリーに情報共有ができ各施設と技師会が直接連絡を取れるようなネットワークを構築できるとのことであった。

改めてサポート登録について周知いただきたいとの指示が全理事になされた。

松本会長：他に何かありませんか、ないようであれば、議題 7 その他について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

報告事項 1 つながる想い in 鹿児島について（5月14日開催）

藤崎（誠）理事より、つながる想い in 鹿児島の開催報告がなされた。総括会議が5月30日に予定しているため、詳細については次回報告したいとのこと。

私見では、技師会関係者が15名参加いただき、イベント全体では188名の参加者数であったが、前回（RFLJ）の約半分程度であったとのことであった。

また、収益金約57万円で内訳は参加費や募金、チャリティー物品の売上であったとのこと。

最後に松本会長より、今回は初開催であったが、前回イベント同様、骨密度測定を望まれていますので今後も参加していく方向である。しかし、イベント自体の趣旨や活動をしっかり精査して、県技師会の活動がしっかりアピールできることを前提に今後も参加の可否を検討して行くことしたいと語られた。

○閉会

松本会長より全ての議事が終了し、常務理事会の閉会が宣言された。

以上ですべての審議を終了した。

定款第 38 条 2 項に沿って、出席した会長及び監事が記名押印する。

平成 28 年 5 月 27 日

会 長 松本 俊也

監 事 池田 睦

議事録作成 渡邊 義治

この議事録は原本と相違ありません

平成 28 年 5 月 27 日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会 長 松本 俊也

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

平成28年度 第2回理事会議事録(抄)

日 時：平成28年6月19日（日）12：30～12：50

場 所：鹿児島大学医学部共通教育棟5階 504号室

出席理事：松本俊也 島児未治 藤崎拓郎 中島祐二 佐藤洋一 坂下周一郎
岡野三男 平賀真雄 野中康博 藤崎誠 太田原美郎 松野下直美
吉村洋一 西憲文 藤坂智史 浮田啓一郎 中山龍一 小磯美奈 渡邊義治

出席監事：池田睦

議事録署名人：松本俊也 池田睦

○開会

松本会長：理事の過半数以上が出席しており本日の理事会は成立します。選挙も終わりました、新たに当選された理事の皆様おめでとうございます。それでは、28年度第2回理事会を開催いたします。

○議題1 副代表理事（副会長）の選定

松本会長：今回、勤務されている施設におきまして、業務多忙のため新村副会長が退任されることとなりまして。そこで新たに副会長を理事の皆様から選出したいと思います。どなたか立候補される方はいらっしゃいませんか？

理事全員：立候補せず

審議した結果 太田原美郎理事が適任ではないかという結果となった。

松本会長：それでは、副会長は理事会の互選となりますので、採決をとりたいと思います。

太田原美郎理事が新副会長就任に賛成の方は挙手をお願いいたします。

理事全員：（全員挙手）

松本会長：それでは全会一致により、28年度から太田原美郎理事が副会長に就いていただくことが承認されました。太田原副会長よろしく申し上げます。

○議題2 大島地域理事の交代

松本会長：田畑一文地域理事が退職されましたので、田畑地域理事の後任に中山龍一理事をお願いしたいと思います。

地域理事は互選となりますので、採決をとりたいと思います。中山龍一理事が大島地域理事に賛成の方は挙手をお願いいたします。

理事全員：（全員挙手）

松本会長：それでは全会一致により、28年度から中山龍一理事が大島地域理事に就いていただくことが承認されました。中山地域理事よろしく申し上げます。

○議題3 新理事について

松本会長：今回の選挙におきまして小磯美奈理事と浮田啓一郎理事が新たに当選されました。小磯理事の業務としましては、総務部門と財務部門の補助をお願いしたいと思います。浮田理事は学術部門をお願い致します。

新しく理事になられた方に一言挨拶よろしいでしょうか？

新副会長に就任された太田原美郎氏と、新しく理事当選された浮田啓一郎氏、中山龍一氏、小磯美奈氏より挨拶が行われた。

○その他

①レントゲン週間について

島児副会長：お手元の資料をご覧ください。

技師会活動をアピールするためにレントゲン週間のイベントをピンクリボン週間とコラボしたいと思います。詳細は下記のとおりです。

日時 平成 28 年 10 月 23 日（日）

場所 鹿児島市立病院および上荒田の杜公園

- 活動 1) 被曝に関する講演
2) 骨密度測定

例年、レントゲン週間の参加者が伸び悩んでおりまして、ピンクリボンは 500 名ほど参加されますので、今回はこういった企画でより多くの方々に鹿児島県診療放射線技師会を知っていただければと思います。ご意見ある方はいらっしゃいますか？

渡邊理事：骨密度測定器は手配可能でしょうか？

松本会長：健康まつり用に 3 台確保しております。1 台をピンクリボンイベントに、残り 2 台を健康まつりに使用したいと思います。

太田原副会長：資料には協賛金と書かれてありますが、ピンクリボンでは協賛金を受け付けていませんので、寄付金という形で供出することとなります。金額は 1 万円からでよいとのことでした。また、当日は健康まつりのイベントと重なっているため、参加が可能かにつきましても協議できればと考えますがいかがでしょうか？

島児副会長：今回、ピンクリボンとのコラボということで、さくら RT の方々に協力を仰ごうと考えております。

松本会長：昨年も原子力防災訓練と重なりましたが、無事に開催できましたので、大丈夫だと思います。それでは、ピンクリボンとのコラボイベントに参加すること及び寄付金を 1 万円とすることの採決をとりたいと思います。賛成の方は挙手をお願いいたします。

理事全員：(全員挙手)

松本会長：それでは全会一致により、イベント参加及び寄付金 1 万円が承認されました。

○閉会

松本会長：では本日の議題をすべて終了いたしました。

これをもちまして、平成 28 年度 第 2 回理事会を終了します。

以上ですべての審議を終了した。

定款第 38 条 2 項に沿って、出席した会長及び監事が記名押印する。

平成 28 年 6 月 20 日

会 長	松本 俊也
監 事	池田 睦
議事録作成	渡邊 義治

この議事録は原本と相違ありません

平成 28 年 6 月 20 日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会 長 松本 俊也

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 平成28年度 第3回理事会議事録(抄)

日 時：平成28年7月9日(日) 17:00～18:00

場 所：ホテルタイセイ 別館2-Aホール

出席理事：松本俊也 島尻末治 藤崎拓郎 中島祐二 吉村洋一 藤坂智史
佐藤洋一 藤崎誠 西憲文 小磯美奈 坂下周一郎 岡野三男
野中康博 中山龍一 渡邊義治

出席監事：池田睦

欠席理事：太田原美郎 松野下直美 浮田啓一郎 平賀真雄 宮寄信監事

議事録署名人：松本俊也 池田睦

○開会

松本会長より理事の過半数以上が出席しており、第3回の理事会の開催が宣言された。

議題1 畦元将吾(あぜもと しょうご)氏について

松本会長より、参議院議員選挙について改めて、「あぜもとしょうご」氏への投票をお願いしたいとの旨が語られた。また、投票時、「あぜもとしょうご」以外に、政党名を書いた場合、畦元氏に票は繋がらず、政党にはいってしまうため、改めて注意が呼びかけられた。

松本会長：何かご意見などありませんか、ないようであれば、議題1 畦元将吾氏について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

議題2 研修会参加費等についての確認

松本会長より、3月(前々回)の合同理事会において承認された、研修会・研究会等の参加費について一部の研究会から、「今後は交通費が支給される」との誤解を受けており、再確認したいとの話が語られた。

カテゴリー	参加費									
	正会員	非会員	理事	世話人	他職種 (更新P目的)	他職種 (更新P目的 でない)	開催地 他職種 (更新P目的 でない)	開催地 非会員 (開催協力者)	一般市民	メーカー
技師会主催 地域研修会	無料	2,000円	無料	無料	1,000円	㉒なし?	㉓なし?	㉔なし?	無料	無料
3部会・さくらRT	無料	2,000円	無料	無料	1,000円	㉕なし?	㉖なし?	㉗なし?	無料	無料
各研究会	500円	2,000円	500円	㉘なし?	1,000円	㉙なし?	㉚なし?	㉛なし?	無料	無料

①研究会世話人参加費（上表①）について

松本会長より上表①について、3月理事会（以下、前回）では世話人の参加費を取らないで欲しいという意見が研究会代表世話人からあり、当日の理事会での協議について承認事案と個人的意見が錯綜してしまっている。改めて確認したい。

中島理事より、意見として「参加費を徴収して交通費として返還」という意見は出した、この意見は協議されたものではないとの内容が語られた。

松本会長より、技師会研修会や部会等では一定の条件を満たした場合旅費という名目で交通費は支給しているが、研究会ではその規約はない。

とい1つの意見が、承認されないまま交通費が全額支給されるというような錯覚を与えてしまった。

各理事から改めて、様々な意見が出され、協議した結果、以下の通りとなった。

①研究会の世話人の参加費を徴収するか否か

②交通費を支給するか否か

③財務状況からみて、交通費を捻出することが可能なか否か

西理事より、上記①～③について議論したが、参加費と交通費を並列で議論することは難しい。また、今年は、研究会から500円の参加費を徴収することで既に動き出しており、非会員の2000円についても1年間を通して見てみないと、結論が出せないのではないだろうか？との意見が出された。

松本会長より、この状況で、新たに交通費を支給してしまうと、収支の状況が悪化する可能性もあり、新たな対策が必要になることも懸念されるとの意見が出された。

今年は、研究会世話人から500円の参加費を徴収するか否かの採決がなされ、全会一致で、世話人からも500円の参加費を徴収することが改めて承認された。

松本会長より、交通費については今年度の収支動向を鑑みて改めて議論すると語られた。

②他職種（更新P目的でない）の方の参加費（上表②③④）について

藤崎（拓）理事より、更新ポイントが必要かどうかは区別するのが非常に難しいため、一律にしてはどうか？との意見が出された。各理事もこの意見に賛同した。

他職種は一律1,000円徴収について採決がなされ、全会一致で他職種は一律1,000円徴収する事が改めて承認された。

③開催地の他職種（更新P目的でない）の方の参加費（上表⑤⑥⑦）について

松本会長より、開催地ですので、最終的にはその施設の判断で良いとの意見が出され、各理事は賛同した。

開催地の他職種は無料とすることについて採決がなされ、全会一致で開催地他職種は無料とする事が改めて承認された。

④開催地の非会員技師の参加費（上表⑧⑨⑩）について

中島理事より、研修会で規模の大きな施設を使用した場合、若手の技師は仕方なく設営を手伝うといったケースも考えられるとの意見が出された。

藤崎（拓）理事より、非会員を 2000 円とする目的は、技師会に加入して欲しいというところであるため、断腸の思いで、放射線技師であれば参加費 2000 円を徴収するべきではないだろうか？との意見が出され、各理事はその意見に賛同した。

開催地の非会員は 2000 円徴収するか否かについて採決がなされ、全会一致で開催地の非会員は 2000 円徴収する事が改めて承認された。

松本会長：何かご意見などありませんか、ないようであれば、議題 2 研修会参加費等について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で下記の内容（表）が承認された。

カテゴリー	参加費							
	正会員	非会員 (開催地含む)	理事	世話人	他職種 (例外なく)	開催地 他職種	一般市民	メーカー
技師会主催 地域研修会	無料	2,000円	無料	無料	1,000円	無料	無料	無料
3部会・さくらRT	無料	2,000円	無料	無料	1,000円	無料	無料	無料
各研究会	500円	2,000円	500円	500円	1,000円	無料	無料	無料

松本会長より、今年度の研修会、研究会については上表を基に運用していくことが語られた。

議題 3 連絡網について

松本会長より、2014 に連絡網の小冊子を作成し、運用してきたがうまく機能しておらず、また、連絡網の存在自体もあまり認知されていないとの意見が出された。紙媒体では、更新や運用に限界があり、県技師会ホームページ（以下、HP）に県内のすべての医療施設（個人名は省く）の連絡先をアップロードしてはどうか？との意見が出された。

島兒副会長より HP 掲載にあたって更新方法について質問がなされた。

松本会長より、更新は地域ごとに管轄して欲しいとの指示がなされた。

岡野理事より、メールアドレスの掲載について質問がなされた。

松本会長より、メールアドレスは掲載せず、各施設の代表番号のみ掲載するとの答えが出された。

坂下理事より、連絡網を作成するにあたっては、HP 掲載までの許可を各施設に頂いておらず、また、会報掲載時も所属施設を掲載しないで欲しいとの要望が出ていたため、改めてその旨の通達が必要であるとの報告がなされた。

藤崎（拓）理事より、掲載拒否の施設は、趣旨をご理解いただいた上で、病院長に直接伺っても良

いのではないだろうか？との意見が出された。

松本会長より、技師会サポートにて協力いただいた施設が約 30 施設、技師数は 200 名程になっており、こちらのサポートの協力者が増加すれば、HP での運用よりも良いので、技師会サポートの協力者を増やすのと併せて何かあったら直ぐに連携が取れるような形を早急に構築していきたいとの意見が出された。

松本会長：何かご意見などありませんか、ないようであれば、議題 3 連絡網について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

議題 4 その他

①NTRT 鹿児島について

松野下理事が欠席のため、野中理事より伝達がなされた。

NTRT の現在の登録者は約 150 名、懇親会が約 80 名の事前登録があったとの報告がなされた。また、おそらく黒字にもっていきそうな状況ではあるが、改めて、事前登録、および当日の参加を各理事の皆様にご周知頂きたいとの意見が語られた。

②新入会・退会の会員情報について

佐藤理事より、技師会会員の新規加入希望者が 13 名いることにあたり、理事会の承認をいただきたいとの申請が出された。

13 名の加入について採決がなされ、全会一致で承認された。

③医療情報精度管理支部会について

島兒副会長より、2 月 11 日（土）に鹿児島市立病院にて医療情報精度管理支部会を開催する旨の案内がなされた。

④急病センター新規勤務者について

渡邊理事より、新規加入者（今村病院分院 牧野竜大氏）の加入について承認いただきたいとの意見がだされた。

採決がなされ、全会一致で牧野竜大氏の新規加入が承認された。

渡邊理事より、9 月 2 日（金）に第 2 回急病センター勤務者研修会を鹿児島市精神保健福祉交流センター 2F 第 1 会議室開催する。また、講師は太田原副会長にお願いしている旨の案内がなされた。

⑤北薩地域研修会について

岡野理事より、11 月 12 日（土）串木野市医師会立脳神経外科センターにて北薩地域研修会を開催する。研究発表が 4 題で X 線撮影研究会とのコラボ企画で講演を予定している旨の案内がなされた。

⑥診療放射線技師基礎講習「超音波検査」について

藤崎（拓）理事より、8月28日（日）に基礎講習の超音波を開催する。定員20名（現在14名受講予定）にみえない場合企画中止となる。受講料は会員3000円ですが、平賀地域理事を中心に、九州の精鋭が集まっているため、各施設にも参加希望を募っていただきたいとの旨の案内がなされた。また、統一講習会は33名の参加者が決定しています。CTの造影剤投入に制限がかかるため、是非参加して欲しいとの要望が出された。

○閉会

松本会長より全ての議事が終了し、常務理事会の閉会が宣言された。

以上ですべての審議を終了した。

定款第38条2項に沿って、出席した会長及び監事が記名押印する。

平成28年7月9日

会 長 松本 俊也

監 事 池田 睦

議事録作成 渡邊 義治

この議事録は原本と相違ありません

平成28年7月9日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会 長 松本 俊也

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

第95回 定時総会議事録

- ・日時：平成28年6月19日（日）11:00～12:30
- ・会場：鹿児島大学医学部保健学科 共通教育棟6階 インテリジェント講義室

総会次第

- 1・開会の辞
- 2・会長挨拶
- 3・資格審査
- 4・議長団選出
- 5・議事録署名人選出
- 6・議事
 - 議案第1号
平成27年度事業報告に関する件
 - 議案第2号
平成27年度決算報告に関する件
 - 議案第3号
平成27年度監査報告に関する件
 - 議案第4号
平成28年度事業計画案に関する件
 - 議案第5号
平成28年度収支予算案に関する件
 - 議案第6号
役員補欠選挙に関する件
 - 議案第7号
その他
- 7・議長団解任
- 8・その他
- 9・閉会の辞

出席

理事 松本俊也 新村栄次 島児末治 太田原美郎 藤崎拓郎 松野下直美
中島祐二 吉村洋一 藤崎誠 佐藤洋一 藤坂智史 西 憲文
渡邊義治 坂下周一郎 岡野三男 平賀真雄 田畑一文 野中康博

監事 池田 睦 宮寄 信

議長 佐々木雅史 床波隆幸

選挙管理委員 永田隆二

・正会員数 481名（平成28年6月19日 現在）

・出席会員数 48名 委任状数236名 合計284名

総会開始

1. 開会の辞

新村栄次副会長による第95回定時総会開会の辞が行われた。

2. 会長挨拶

松本会長より挨拶。平成28年4月から開始の診療放射線技師拡大業務の研修会は全国的にも順調に進んでいる。また鹿児島県でも来月に開催します。年内にもう2回ほど予定している。早めの受講をお願いします。診療放射線技師の待遇改善、更なる業務拡大のため、次回の参議院選へ診療放射線技師から国会議員をおくりだしたい。

3. 総務理事より正会員数481名（平成28年6月19日現在）のうち284名（書面表決者236名を含む）が出席し総会が成立する旨の報告が行われた。

4. 議長団選出

会場からの立候補はなく、執行部より正議長に鹿児島大学病院の佐々木雅史氏、副議長に出水郡医師会広域医療センターの床波隆幸氏を推薦し、満場一致で選出された。

議長団登壇

5. 議事録署名人選出

藤坂智史総務理事より公益社団法人移行後の新定款の31条に則り、議長及び出席した理事をもって議事録署名人とする説明が行われた。

6. 議事

正議長：議事録署名人を議長及び出席した理事として早速審議に入ります。

時間の関係上、議事議案第1号から議事議案第3号まで続けて説明を受けた後、

質疑応答及び採決にはいりたいと思います。

正議長：議事議案第1号から議事議案第3号まで執行部の説明をお願いします。

議事議案第1号 平成27年度事業報告に関する件について

松本俊也会長より平成27年度事業報告の総括が述べられた。

藤坂智史総務理事より別冊配布した総会資料により事業報告の説明がなされた。

正議長：議案第2号、平成27年度決算報告に関する件について説明をお願いします。

議事議案第2号 平成27年度決算報告について中島祐二財務理事より別冊配布した総会資料により説明がなされた。

正議長：議案第3号、平成27年度監査報告に関する件について説明をお願いします。

議事議案第3号 監査報告について池田睦監事、宮寄信監事より別紙配布資料監査結果について、会務執行は的確に行われている。事業については順調に執行運営されている。会計処理は間違いなく処理されている。その他特に指摘すべき事項は認められないとの報告があった。

議事議案第1号から議事議案第3号までの一括質疑応答に入った。

正議長：質疑応答に入ります。なお、発言される方は挙手で所属と名前を名乗ってからお願いします。会場より質問はないですか？

質疑応答なし

正議長：ないようですので、採決に入りたいと思います。

採決は挙手にて 反対、 保留、 賛成 の順に行います。

議案第1号 平成27年度事業報告対して反対の方の挙手をお願いします。

0名

保留の方の挙手をお願いします。

0名

賛成の方の挙手をお願いします。

全員挙手

賛成の方の挙手多数により議案第1号 平成27年度事業報告は承認されました。

副議長：議事議案第4号、議事議案第5号の説明が終わりましたので、
質疑応答に入ります。なお、発言される方は挙手で所属と名前を名乗ってからお願い
いたします。

質疑応答なし

副議長：質問はないでしょうか。

ないようですので、採決に入りたいと思います。

議案第4号 平成28年度事業計画案対して反対の方の挙手をお願いします。

0名

保留の方の挙手をお願いします。

0名

賛成の方の挙手をお願いします。

全員挙手

賛成の方の挙手多数により議案第4号 平成28年度事業計画案は承認されました。

続きまして、議案第5号 平成27年度収支予算案対して反対の方の挙手をお願いし
ます。

0名

保留の方の挙手をお願いします。

0名

賛成の方の挙手をお願いします。

全員挙手

賛成の方の挙手多数により議案第5号 平成28年度収支予算案は承認されました。

副議長：議案第6号、役員選挙に関する件について会長より役員選挙規定について説明をお願い
いたします。

松本俊也会長：理事2名より辞任の申し出がありました。また、理事の定員に対して2名の欠
員がありましたので、放射線技師会役員選挙規程に則り立候補並びに推薦の受付を行
いました。鹿児島県診療放射線技師会定款第14条第1項の理事・監事の定数に従い
選挙を行います。詳細は選挙管理委員会より説明してもらいます。

副議長：役員選挙について会場からご意見がありますか？

質疑応答なし

副議長：ないようですので選挙管理委員より選挙について報告をお願いします。

選挙管理委員：選挙管理委員長永田隆二です。

公益社団法人鹿児島県放射線技師会役員選挙結果を報告します。

平成 28 年 5 月 11 日付の鹿児島県診療放射線技師会ニュースに平成 28 年役員選挙の告示を掲示しました。辞任 2 名を含む定数補充のための選挙であり、定数は 4 名であった。

平成 28 年 6 月 10 日午後 5 時まで立候補・推薦あわせて 3 名の届け出がありました。候補者が役員定数を超えませんでしたので、公益社団法人・鹿児島県診療放射線技師会の役員選挙規程第 10 条の無投票当選に該当しました。よって平成 28 年 6 月 19 日の第 95 回鹿児島県診療放射線技師会定時総会にて 3 名を当選者とししました。当選者を届け出順に読み上げます

理事 中山龍一 浮田啓一郎 小磯美奈

以上 報告いたします。

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会選挙管理委員会委員長 永田隆二

副議長：只今報告がありました、役員選挙に関しましてご意見ありますか。

質疑応答なし

副議長：ないようですので採決に入ります。

それでは、定款 29 条第 3 項に沿って各候補者ごとに決議にはいります。

中山龍一さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により中山龍一さんの当選は承認されました。

浮田啓一郎さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により浮田啓一郎さんの当選は承認されました。

小磯美奈さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により小磯美奈さんの当選は承認されました。

副議長：以上をもちまして、議案第 6 号の審議を終了します。

以上により議事議案第6号は承認された。

被選任者は即時就任を承諾した。

副議長：続いて議案第7号の その他 に入ります。

執行部並びに会場からのご意見・提案はないでしょうか。

会場及び執行部よりなし

副議長：ないようですので、これで議案第7号その他を終了します。

7. 議長団退席

副議長：以上を持ちまして議案第1号から議事議案第7号までの審議を終わり、
私たちの議長の責を退かせて戴きます。会場の皆様のご協力ありがとうございました。

8. その他

会場及び執行部よりなし

9. 閉会の辞

すべての審議を終え、本総会が終了し、新村栄次副会長により閉会が宣言された。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、定款第31条2項に沿って、議長及び出席した理事が記名押印する。

平成28年6月20日

正 義 長 佐々木雅史

副 議 長 床波隆幸

理 事 松本俊也 新村栄次 島児末治

太田原美郎	藤崎拓郎	松野下直美
中島祐二	藤坂智史	吉村洋一
佐藤洋一	西 憲文	藤崎 誠
渡邊義治	坂下周一郎	岡野三男
平賀真雄	野中 康博	田畑 一文

議事録作成 藤坂 智史

この議事録は原本と相違ありません

平成 28 年 6 月 20 日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会 長 松本 俊也



第 95 回
公益社団法人
鹿児島県診療放射線技師会

定 時 総 会 資 料



日時：平成 28 年 6 月 19 日（日） 11:00～12:30

会場：鹿児島大学医学部保健学科 共通教育棟

6 階 インテリジェント講義室

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

目 次

総会次第	1
平成 27 年度活動報告総括	2
平成 27 年度事業報告	4
平成 27 年度収支計算報告	
貸借対照表	10
正味財産増減計算書	11
正味財産増減計算書内訳表	13
財務諸表に対する注記	16
平成 27 年度監査報告書	17
平成 28 年度事業計画（案）	18
平成 28 年度収支予算書（案）	22

総会次第

- 1・開会の辞
- 2・会長挨拶
- 3・資格審査
- 4・議長団選出
- 5・議事録署名人選出
- 6・議事
 - 議案第1号
平成27年度事業報告に関する件
 - 議案第2号
平成27年度決算報告に関する件
 - 議案第3号
平成27年度監査報告に関する件
 - 議案第4号
平成28年度事業計画案に関する件
 - 議案第5号
平成28年度収支予算案に関する件
 - 議案第6号
役員補欠選挙に関する件
 - 議案第7号
その他
- 7・議長団解任
- 8・その他
- 9・閉会の辞

平成 27 年度活動報告

総括

平成 27 年度も前年度と同様に本会の目的である会員の職業倫理を高揚する事業と共に、診療放射線の安全管理に関する知識の普及啓発並びに診療放射線技師の資質の向上を図り、地域医療の振興と県民の健康増進に寄与する事業を行った。

平成 27 年度は公益社団法人 3 年目で新体制になりましたが前年度と同様に公益性の高い事業を行う事に留意した。

公益事業として、まず、平成 27 年 5 月 9 日から 10 日に開催されたリレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしまのイベントに、昨年と同様に鹿児島県診療放射線技師会のブースを設置して参加した。このイベントはがん患者さんやサポートする家族と共になんに向かう勇気や生きる感動を分かち合うためのイベントで、平成 27 年度で 4 回目の開催になる。鹿児島県診療放射線技師会は放射線検査や放射線被ばくに関するパネルの展示や超音波による骨密度の測定を行った。さらに今回はブースの設置だけではなく 24 時間リレーウォークにも参加し、技師会理事をはじめ地域の会員の協力を仰ぎながら 24 時間のウォークを完遂した。骨密度測定者は 100 名を超え鹿児島県診療放射線技師会の啓発も行った。2 日間の延べ参加者数は前年と同じであり、がん撲滅のイベントとして大きな成果を挙げ鹿児島県診療放射線技師会としても貢献できた。

平成 27 年 12 月 20 日にレントゲン週間市民公開講座を開催した。今回もコ・メディカル職種の紹介を行い「病院での医療技術職の仕事について」と題して、医療現場で働く理学療法士、臨床検査技師、臨床工学技士、診療放射線技師の 4 職種と診療放射線技師の養成機関からそれぞれの代表者を招いての講演会を鹿児島県内の中学生・高校生及び家族・引率の教諭を対象に行った。参加人員は事前の案内の成果が出たのか研修室いっぱいだった。講演会の質疑応答では将来の職業について活発な質問がありコ・メディカルへの関心の高さが伺えた。この講演会は次年度には形式を変えたものにして行う予定とした。もう 1 つの公益事業の市民健康まつりは前年の台風接近により中止とは違って秋の晴天にも恵まれ記録的な骨密度測定希望者で前回の倍近くの数となり、測定に忙しい一日になった。

その他、鹿児島県内における診療放射線技師の職業倫理の高揚や知識の向上に関する研修会、研究会を行った。フレッシューズセミナー、リーダー及びリーダー育成研修会をそれぞれ 1 回ずつ開催した。地域研修会を 6 地域にてそれぞれ行ない、南薩地域、大隅地域、霧島・始良地域は年間 2 回開催した。また平成 28 年 2 月 6 日に大島地域研修会において秋季学術大会を同時に開催し、「救急撮影について」と題してシンポジウムを開催した。鹿児島消化器画像研究会を 4 回、鹿児島県放射線治療技術研究会を 2 回、鹿児島 CT 研究会を 4 回、鹿児島乳腺画像研究会を 1 回、鹿児島超音波研究会を 3 回、少人数ハンズオンセミナー、鹿児島 X 線撮影研究会を 2 回開催した。

平成 27 年度 九州地域放射線技師研修会を鹿児島県開催として平成 27 年 9 月 12 日に開催し「我々診療放射線技師がやるべき読影補助について」として九州各地から診療放射線技師が集まりテーマ討論等を行い活発な質疑が行われた。

第 3 回九州 FRT（女性の集い）をアイムビルで開催した。九州一円から女性技師が集い日ごろの女性目線での研修会で非常に好評であった。

業務拡大における統一講習会を平成 28 年 1 月 23・24 日に鹿児島大学保健学科研修室で開催の予定であったが大雪のため講習会を講義中止にする事態となったが残り講義を 2 月 13・14 日で開催し無事終了することができた。

放射線機器管理士部会、画像情報精度管理士部会がそれぞれ 1 回ずつ開催した。その他、地域保健協力事業は鹿児島市夜間急病センター担当者の研修を 3 回行った。平成 27 年度の鹿児島県原子力防災訓練は鹿児島県診療放射線技師会から 3 班に分けて東出水・河頭中学・吹上公民館それぞれ訓練への積極的な参加を行った。

平成 27 年度事業報告

本会創立の目的である、診療放射線学および診療放射線に関する技術の向上発展ならびに県民保健の維持発展に寄与するため以下 16 の事業を行った。

1. 生涯学習の推進

安全で質の高い医療の提供を求める県民の負託に応えるためには、卒後教育が重要である。また、大きく変化していく診療放射線技術や社会情勢に対応すべく生涯学習の推進に努めた。

2. フレッシュャーズセミナーの開催

社会人・医療人としての心構えや接遇についての教育を行うとともに、臨床現場ですぐに役に立つ医療安全・一般撮影・気管支解剖等の研修を行った。

日時：平成 27 年 6 月 14 日（日）

会場：鹿児島大学医学部 第 4 講義室

主催：鹿児島県診療放射線技師会

内容：エチケット・マナー講座

医療安全講座

基礎講座(X線撮影)

気管支解剖講座

感染対策講座

入会案内

対象：会員および非会員

参加人数：36 名

3. リーダー及びリーダー育成研修会

放射線部門のリーダーとして、いかにして優秀な人材を育てていくか、どのように行動することが県民や病院に貢献できるか等の研修会を開催する。また、次代を担うリーダーの育成に努めるとともに施設間の情報の交換を行った。

日時：平成 27 年 7 月 18 日（土）

会場：鹿児島大学医学部 第 2 臨床実習室

主催：鹿児島県診療放射線技師会

内容：「管理職に求められるコミュニケーション」

対象：会員

参加人数：40 名

4. レントゲン週間に放射線展ならびに市民公開講座の開催

日本放射線技師会が推進する『国民から見える職業へ』・『期待に応える専門職種として』のスローガンを達成するために、県民と直接に接し、放射線技師の業務等を紹介するため、当会独自のイベントを開催する。また、市民公開講座や無料検診を行うことにより、より公益性を高める。

日時：平成 27 年 12 月 20 日（日）

会場：鹿児島県民交流センター

主催：鹿児島県診療放射線技師会

内容：「病院での医療技術系職種の仕事について」

対象：一般市民、学生、会員、非会員

参加人数：52 名

5. 特別企画の実施

第 94 回総会時に特別講演を行なった。

日時：平成 27 年 6 月 21 日（日）

会場：鹿児島大学医学部保健学科 講義棟 6F インテリジェント講義室

主催：鹿児島県診療放射線技師会

内容：「芸術と数学と私」

対象：会員および非会員

参加人数：60 名

6. 地域研修会の実施

6 地域（鹿児島地域、南薩地域、北薩地域、霧島・始良地域、大隅地域、大島地域）研修会を地域理事の企画において開催する。また、開催の規模や頻度に応じた助成を行った。

鹿児島地域

第 15 回鹿児島地域研修会

日時：平成 27 年 8 月 7 日（金）

会場：鹿児島大学病院臨床第二実習室

対象：会員、非会員

参加人数：35名(非会員1名)

南薩地域

第31回南薩地域研修会

日時：平成27年9月19日(土)

会場：ウエルフェア九州病院

対象：会員および非会員

参加：46名(うち非会員24名)

第32回南薩地域研修会

日時：平成28年2月27日(土)

会場：かわなべ寿光苑

対象：会員および非会員

参加：33名(うち非会員14名)

北薩地域

第24回北薩地域研修会

日時：平成27年11月14日(土)

会場：医療法人栄和会 寺田病院

対象：会員及び非会員

参加人数：55名(うち非会員18名)

霧島・始良地域

霧島・始良地域研修会

日時：平成27年7月25日(土)

会場：国立病院機構 南九州病院

対象：会員及び非会員

参加人数：出席者 34名(うち非会員8名)

霧島・始良地域研修会

日時：平成28年1月30日(土)

会場：霧島市立医師会医療センター

対象：会員及び非会員

参加人数：出席者 21名(うち非会員4名)

大隅地域

第37回大隅地域研修会

日時：平成27年8月8日(土)

会場：大隅鹿屋病院

対象：会員及び非会員

参加人数：35名(非会員14名)

第38回大隅地域研修会

日時：平成28年2月20日(土)

会場：鹿屋医療センター

対象：会員及び非会員

参加人数：38名(うち非会員9名)

大島地域

大島地域研修会(秋季学術大会合同開催)

日時：平成28年2月6日(土)

会場：県立大島病院救命センター研修ホール

対象：会員及び非会員

参加人数：27名(うち非会員6名)

7. 秋季学術大会の実施

平成27年度鹿児島県放射線技師会秋季学術大会

日時：平成28年2月6日(土)

会場：県立大島病院救命センター研修ホール

対象：会員及び非会員

参加人数：27名(うち非会員6名)

8. 各研究会の実施

鹿児島消化器画像研究会、鹿児島放射線治療研究会、鹿児島CT研究会、MR研究会、鹿児島乳腺画像研究会、鹿児島超音波研究会、鹿児島X線研究会を鹿児島県診療放射線技師会の事業とし、研究会の充実を図るとともに非会員に対して入会の勧誘を積極的に行う。また、各研究会の活動が充実していくための助成を行った。

鹿児島消化器画像研究会

第50回鹿児島消化器画像研究会

日時：平成27年4月22日（水）

会場：厚生連病院

対象：会員および非会員

参加人数：60名

（会員：40名 非会員14名 メーカー6名）

第51回鹿児島消化器画像研究会

日時：平成27年7月11日（土）

会場：南風病院 ANNEX-I

対象：会員および非会員

参加人数：53名

（会員39名 非会員8名 メーカー6名）

第52回鹿児島消化器画像研究会

日時：平成27年10月21日（水）

場所会場：厚生連病院

対象：会員および非会員

参加人数：36名

（会員30名 非会員4名 メーカー2名）

第53回鹿児島消化器画像研究会

日時：平成28年1月16日（土）

会場：南風病院 ANNEX-I

対象：会員および非会員

参加人数：52名

（会員41名 非会員5名 メーカー6名）

鹿児島県放射線治療技術研究会

第14回鹿児島県放射線治療技術研究会

日時：平成27年7月11日（土）

会場：鹿児島大学病院 第4講義室

対象：会員および非会員

参加者：46名（うち非会員9名）

第15回鹿児島県放射線治療技術研究会

日時：平成27年12月19日（土）

会場：鹿児島大学病院 第4講義室

対象：会員および非会員

参加者：75名（うち非会員19名）

鹿児島CT研究会

第30回鹿児島CT研究会

日時：平成27年6月13日（土）

会場：鹿児島医療センター 大研修室

対象：会員および非会員

参加人数：103名（うち非会員42名）

第31回鹿児島CT研究会

日時：平成27年8月19日（水）

会場：鹿児島医療センター 大会議室

対象：会員および非会員

参加人数：86名（うち非会員16名）

第32回鹿児島CT研究会

日時：平成27年11月18日（水）

会場：鹿児島医療センター2階大会議室

対象：会員および非会員

参加者93名（うち非会員15名）

第33回鹿児島CT研究会

日時：平成28年2月18日（水）

場所：鹿児島医療センター 2階 大会議室

対象：会員および非会員

参加者95名（うち非会員21名）

鹿児島乳腺画像研究会

第3回鹿児島乳腺画像研究会

日時：平成28年1月20日（金）

会場：鹿児島市立病院 多目的ホール

対象：会員および非会員

参加人数53名（うち非会員27名）

鹿児島超音波研究会

第7回鹿児島超音波研究会

日時:平成27年6月12日(金)

会場:鹿児島厚生連病院

対象:会員および非会員

参加人数 35名(うち非会員 11名)

第8回鹿児島超音波研究会

日時:平成27年9月5日(土)

会場:南風病院アネックスI

対象:会員および非会員

参加人数 51名(うち非会員 16名)

第9回鹿児島超音波研究会

日時:平成28年2月12日(金)

会場:鹿児島厚生連病院

対象:会員および非会員

参加人数 41名(うち非会員 15名)

第5回少人数ハンズオンセミナー

平成27年/3/4~6/10 計10回

参加者 4名(うち非会員 2名)

開催場所 霧島市医師会医療センター

鹿児島X線撮影研究会

第4回鹿児島X線撮影研究会

日時:平成27年7月11日(土)

会場:鹿児島大学病院

対象:会員および非会員

参加人数 60名(うち非会員 16名)

第5回鹿児島X線撮影研究会

日時:平成28年1月9日(土)

会場:鹿児島大学病院

対象:会員および非会員

参加人数 76名(うち非会員 17名)

第1回鹿児島X線撮影研究会地域セミナーin大隅

日時:平成27年12月12日(土)

会場:大隅鹿屋病院

対象:会員および非会員

参加人数 19名(うち非会員 3名)

9. 管理士部会による研修会開催

安全で質の高い医療を提供するためには、放射線管理・機器管理・画像情報管理を適正に行うことが不可欠である。これらの管理は、日々の業務の中で継続的に実践することが重要である。より効率的な管理を行ううえで必要な講習会を管理士部会主催で開催した。

放射線機器管理士部会

日時:平成28年3月26日(土)

会場:鹿児島大学病院 第4講義室

対象:会員および非会員

参加者:35名(うち非会員 10名)

鹿児島医療画像情報精度管理士部会

日時:平成27年1月16日(土)

場所:鹿児島市立病院

対象:会員および非会員

参加者:51名(うち非会員 12名)

10. 鹿児島県診療放射線技師 女性の集い

第4回鹿児島県診療放射線技師 女性の集い

(第2回FRT九州研修会と同時開催)

平成27年8月1日(土)

鹿児島商工会議所アイムビル

参加者:146名(うち非会員 32名)

11. ホームページの活用促進

ホームページの更新に伴い内容の充実を図り、会員、県民に積極的に情報を発信する。また各地域からも情報発信しやすいシステムを構築する。
随時更新中

1 2. 各種イベント等への積極的参加・協力

他関係団体との共催である市民健康まつり等に積極的に参加し、他職種との連携を深めるとともに公益法人としての社会的役割を果たす。

○市民健康まつり

日時：平成 27 年 10 月 4 日（日）

場所：鹿児島アリーナ

参加技師数：15 名

骨密度測定者数：483 名

○リレー・フォー・ライフジャパン参加

日時：平成 27 年 5 月 9 日（土）

会場：ドルフィンポート

がん撲滅のイベントであるリレー・フォー・ライフジャパンに 3 回目の参加をした。今回もブースを設置しパネル展示、骨密度測定(149 名)を行った。また、24 時間リレー・ウォークにも参加し会員の協力によりリレーを完遂した。

1 3. 原子力防災支援

原子力災害時に適正かつ迅速に対応するために必要な研修に出席する。また、県が開催する原子力防災訓練に参画し、放射線に関する専門家としての放射線技師の存在を誇示していく。

（原子力防災訓練）

平成 27 年度鹿児島県原子力防災訓練

日時：平成 27 年 12 月 20 日（日）

内容：一次・二次スクリーニング、DMAT

吹上中央公民館 参加人数：6 名

東出水小学校 参加人数 4 名

河頭中学校 参加人数 3 名

1 4. 地域保健協力事業

鹿児島市医師会より委託を受けた鹿児島市夜間救急センター放射線業務に対して、診療放射線技師を派遣する。業務の安全ならびに質の高い画像情報を提供するために必要な連絡調整会議や研修

会を開催した。

派遣登録者数：21 名

第 1 回夜間急病センター研修会

日時：平成 27 年 7 月 18 日（土）

場所：鹿児島大学病院 第 2 臨床実習室

対象：派遣登録者（会員）

参加人数：13 名

第 2 回夜間急病センター研修会

日時：平成 27 年 9 月 12 日（土）

場所：ホテルパレスイン鹿児島

対象：派遣登録者（会員）

参加人数：12 名

第 3 回夜間急病センター研修会

日時：平成 28 年 1 月 9 日（土）

場所：鹿児島大学病院

対象：派遣登録者（会員）

参加人数：16 名

1 5. その他の事業

環境測定事業

二川内科胃腸科

実施日 H27 年 4 月

測定者 藤崎、島児

博悠会温泉病院

実施日 H27 年 4 月、10 月

測定者 藤崎、小磯、白尾

ふくいわ耳鼻咽喉科クリニック

実施日 H27 年 4 月、10 月

測定者 西郷

田上クリニック

実施日 H27 年 7 月、H28 年 1 月

測定者 隈、西元

守屋病院

実施日 H27年7月

測定者 藤崎、吉見

平成27年度常務理事会

第1回常務理事会：平成27年7月18日

第2回常務理事会：平成27年9月8日

第3回常務理事会：平成27年11月10日

第4回常務理事会：平成28年2月16日

出版事業

平成27年5月：ニュース60号発行

平成27年9月：第122号会報発行

平成28年2月：第123号会報発行

組織拡大事業

フレッシュャーズセミナー、各地域研修会、各研究会等にて会員勧誘を実施

関連団体との連携

以下、関連団体と連携し、講習会等を開催した。

日本診療放射線技師会主催講習会

業務拡大に伴う統一講習会開催（鹿児島）

日時：平成28年1月23日・2月14日

場所：鹿児島大学医学部

対象：会員

内容：講義（視聴）及び技能試験

参加人数：30名

九州地域放射線技師会

平成27年度九州地域放射線技師会研修会

日時：平成27年9月12日（土）

場所：ホテルパレスイン鹿児島

対象：会員および非会員

参加人数：112名

平成27年度理事会

第1回理事会：平成27年5月31日

第2回理事会：平成27年6月21日

第3回理事会：平成27年9月26日

第4回理事会：平成28年3月27日

貸借対照表

平成 28 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,824,090	2,525,054	299,036
未収会費	0	49,000	-49,000
未収金負担金	0	3,500	-3,500
流動資産合計	2,824,090	2,577,554	246,536
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	7,900,000	7,900,000	0
建物	11,330,000	11,330,000	0
減価償却累計額	-5,710,320	-5,302,440	-407,880
基本財産合計	13,519,680	13,927,560	-407,880
(2) 特定資産			
事務所建替資産	8,175,812	8,167,791	8,021
特定資産合計	8,175,812	8,167,791	8,021
(3) その他固定資産			
什器備品	3,362,480	3,362,480	0
什器備品減価償却累計額	-2,824,269	-2,252,813	-571,456
その他の固定資産合計	538,211	1,109,667	-571,456
固定資産合計	22,233,703	23,205,018	-971,315
資産合計	25,057,793	25,782,572	-724,779
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	0	30,630	-30,630
流動負債合計	0	30,630	-30,630
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	30,630	-30,630
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(2) その他一般正味財産	-4,198,609	-3,504,460	-694,149
一般正味財産	-4,198,609	-3,504,460	-694,149
正味財産合計	25,057,793	25,751,942	-694,149
負債及び正味財産合計	25,057,793	25,782,572	-724,779

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
受取入金	0	0	0
受取会費	3,024,000	2,989,000	35,000
正会員会費	3,024,000	2,989,000	35,000
事業収益	882,500	645,500	237,000
研修会会費	109,500	105,500	4,000
広告	360,000	360,000	0
環境測定事業	413,000	180,000	233,000
業務委託費	71,600	72,400	-800
日本放射線技師会業務委託	71,600	72,400	-800
受取負担金	508,800	505,500	3,300
受取負担金	216,000	213,500	2,500
市医師会負担金	292,800	292,000	800
受取寄付金	0	0	0
雑収益	339,761	803,969	-464,208
受取利息	268	317	-49
雑収益	339,493	803,652	-464,159
経常収益計	4,826,661	5,016,369	-189,708
(2) 経常費用			
事業費	3,986,856	4,653,946	-667,090
旅費交通費	591,900	783,810	-191,910
通信運搬費	180,751	174,794	5,957
消耗品費	18,016	864	17,152
印刷製本費	596,496	582,480	14,016
光熱水料費	75,250	63,852	11,398
賃借料	404,430	359,030	45,400
保険料	43,528	43,528	0
諸謝金	959,085	998,000	-38,915
租税公課	30,420	33,000	-2,580
減価償却費	807,162	826,043	-18,881
雑費	279,818	788,545	-508,727
管理費	1,533,954	2,200,050	-666,096
会議費	106,923	89,171	17,752
旅費交通費	284,400	364,600	-80,200
通信運搬費	73,495	59,818	13,677
消耗品費	13,715	24,663	-10,948
印刷製本費	59,400	303,132	-243,732
光熱水料費	84,574	98,716	-14,142
賃借料	7,000	210,960	-203,960
保険料	29,018	29,018	0
諸謝金	366,294	364,000	2,294
租税公課	41,280	43,000	-1,720
支払負担金	221,000	226,500	-5,500
減価償却費	172,174	180,312	-8,138
雑費	74,681	206,160	-131,479
経常費用計	5,520,810	6,853,996	-1,333,186
評価損益調整前経常増減額	-694,149	-1,837,627	1,143,478
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-694,149	-1,837,627	1,143,478
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産減損損失	0	0	0
災害損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-694,149	-1,837,627	1,143,478
一般正味財産増減額	-694,149	-1,837,627	1,143,478
一般正味財産期首残高	-3,504,460	-1,666,833	-1,837,627
一般正味財産期末残高	-4,198,609	-3,504,460	-694,149
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	-4,198,609	-3,504,460	-694,149

正味財産増減計算書内訳表

平成 27 年 4 月 1 日 から 平成 28 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

勘定科目	共通	公益目的	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	0
受取会費	0	1,814,400	1,209,600	3,024,000
正会員会費	0	1,814,400	1,209,600	3,024,000
事業収益	0	882,500	0	882,500
研究会会費	0	109,500	0	109,500
広告	0	360,000	0	360,000
環境測定事業	0	413,000	0	413,000
業務委託費	0	71,600	0	71,600
日本放射線技師会業務委託	0	71,600	0	71,600
受取負担金	0	508,800	0	508,800
受取負担金	0	216,000	0	216,000
市医師会負担金	0	292,800	0	292,800
受取寄付金	0	0	0	0
雑収益	0	339,761	0	339,761
受取利息	0	268	0	268
雑収益	0	339,493	0	339,493
経常収益計	0	3,617,061	1,209,600	4,826,661
(2) 経常費用				
事業費	0	3,986,856	0	3,986,856
旅費交通費	0	591,900	0	591,900
通信運搬費	0	180,751	0	180,751
消耗品費	0	18,016	0	18,016
印刷製本費	0	596,496	0	596,496
光熱水料費	0	75,250	0	75,250
賃借料	0	404,430	0	404,430
保険料	0	43,528	0	43,528
諸謝金	0	959,085	0	959,085
租税公課	0	30,420	0	30,420
減価償却費	0	807,162	0	807,162
雑費	0	279,818	0	279,818
管理費	0	0	1,533,954	1,533,954
会議費	0	0	106,923	106,923
旅費交通費	0	0	284,400	284,400

(単位：円)

勘定科目	共通	公益目的	法人会計	合計
通信運搬費	0	0	73,495	73,495
消耗品費	0	0	13,715	13,715
印刷製本費	0	0	59,400	59,400
光熱水料費	0	0	84,574	84,574
賃借料	0	0	7,000	7,000
保険料	0	0	29,018	29,018
諸謝金	0	0	366,294	366,294
租税公課	0	0	41,280	41,280
支払負担金	0	0	221,000	221,000
減価償却費	0	0	172,174	172,174
雑費	0	0	74,681	74,681
経常費用計	0	3,986,856	1,533,954	5,520,810
評価損益調整前経常増減額	0	-369,795	-324,354	-694,149
基本財産評価損益等	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	0	-369,795	-324,354	-694,149
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
固定資産売却損	0	0	0	0
固定資産減損損失	0	0	0	0
災害損失	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	-369,795	-324,354	-694,149
一般正味財産増減額	0	-369,795	-324,354	-694,149
一般正味財産期首残高	0	-1,465,679	-2,038,781	-3,504,460
一般正味財産期末残高	0	-1,835,474	-2,363,135	-4,198,609
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0	0

(単位：円)

勘定科目	共通	公益目的	法人会計	合計
基本財産評価損	0	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高				
正味財産期末残高	0	-1,835,474	-2,363,135	-4,198,609

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。
- (2) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	7,900,000			7,900,000
建物	6,027,560		407,880	5,619,680
小 計	13,927,560		407,880	13,519,680
特定資産				
事務所建替資産	8,167,791	8,021		8,175,812
小 計	8,167,791	8,021		8,175,812
合 計	22,095,351	8,021	407,880	21,695,492

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
土地	7,900,000	()	(7,900,000)	()
建物	5,619,680	()	(5,619,680)	()
小 計	13,519,680	()	(13,519,680)	()
特定資産				
事務所建替資産	8,175,812	()	(8,175,812)	()
小 計	8,175,812	()	(8,175,812)	()
合 計	21,695,492	()	(21,695,492)	()

平成 27 年度 監査報告書

平成 28 年 5 月 15 日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会 長 松本 俊也 殿

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

監 事 宮 寄 信

監 事 池 田 陸



監事兩名は、平成 27 年度の技師会運営に関する監査を技師会事務所に置いて実施し、協議の上、この監査報告を作成したので以下の通り報告する。

記

1. 監査の概要

理事会に出席するほか、会長及び担当理事から技師会運営に関する報告を受け、会務執行、事業計画及び会計処理について監査した。

2. 監査の結果

(1) 会務執行

会員の異動状況報告、各種の議事録、文書綴りを閲覧した結果、定款及び総会決議に違反する事実は認められず的確に処理されていることを認める。

(2) 事業について

事業計画に基づき順調に執行運営されていることを認める。

(3) 会計処理

収支状況について収支計算書ならびに証拠書類などを審査した結果、不整の連は認められず、諸帳簿類の記載ならびに会計処理は間違いなく処理されていることを認める。

(4) その他

特に指摘する事項は認められない。

平成 28 年度事業計画

平成 28 年度事業計画案の説明を行います。

鹿児島県診療放射線技師会は平成 28 年度も公益社団法人として、前年度と同じように公益社団法人にふさわしい事業を行います。

リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしまの代わりに開催される「つながる想い in かごしま」へ参加し、がん患者さんへの理解とイベントのサポートを行います。同時に診療放射線技師並びに鹿児島県診療放射線技師会の啓発を行います。

市民健康祭りにおいてブースを設置し放射線被ばくの相談や診療放射線への理解並びに放射線検査の説明等をパネルで行います。また、超音波骨密度測定器により骨年齢の測定を行い県民の健康増進に寄与する事業を行います。

市民公開のレントゲン週間イベントを開催します。同時にパネル展示等を行い放射線検査の説明や放射線被ばく相談にあたります。

特別企画の実施として公益性に富む一般講演会の開催を企画し、専門性以外の知識・素養も身につける予定です。

春季並びに秋季学術大会を春季は鹿児島市で秋季は南薩地域で開催予定です。さらに、フレッシュャーズセミナー、リーダー及びリーダー育成研修会、その他研修会を開催予定です。

また、各地域研修会並びに研究会、部会及び女性の集い等も昨年同様に開催いたします。

平成 28 年度の原子力防災訓練には鹿児島県診療放射線技師会も参加予定です。地域保健協力事業として引き続き鹿児島市夜間急病センター支援事業を行い、担当者による研修会も複数回開催予定です。

上記の通り、鹿児島県内の診療放射線技師の職業倫理の高揚と資質の向上並びに鹿児島県民の健康増進に寄与する事業を行います。平成 28 年度も鹿児島県診療放射線技師会活動にご理解並びにご協力をよろしくお願いいたします。

本会創立の目的である、診療放射線学および診療放射線に関する技術の向上発展ならびに県民保健の維持発展に寄与するため以下の事業を行う。

1. 生涯学習の推進

安全で質の高い医療の提供を求める県民の負託に応えるためには、卒後教育が重要である。また、大きく変化していく診療放射線技術や社会情勢に対応すべく生涯学習の推進に努める。

2. フレッシュャーズセミナーの開催

社会人・医療人としての心構えや接遇についての教育を行うとともに、臨床現場ですぐに役に立つ一般撮影・CT・MRI等の研修を行う。

3. リーダー及びリーダー育成研修会

放射線部門のリーダーとして、いかにして優秀な人材を育てていくか、どのように行動することが県民や病院に貢献できるか等の研修会を開催する。また、次代を担うリーダーの育成に努めるとともに施設間の情報の交換を行う。

4. レントゲン週間に放射線展ならびに市民公開講座の開催

日本診療放射線技師会が推進する『国民から見える職業へ』・『期待に応える専門職種として』のスローガンを達成するために、県民と直に接し、放射線技師の業務等を紹介するため、当会独自のイベントを開催する。また、市民公開講座や無料検診を行うことにより、より公益性を高めていく。

5. 特別企画の実施

公益性に富む一般講演会の開催を企画し、知識・素養も身につける。

6. 地域研修会の実施

6地域（鹿児島地域、南薩地域、北薩地域、霧島・姶良地域、大隅地域、大島地域）研修会を理事会の企画において開催する。会員、非会員に限らず出席を可能とし、会員増加の促進を図る。

7. 学術大会の実施

学術大会は春季と秋季に開催している。春季は鹿児島市開催、秋季は各地域の持ち回りで企画・開催しているが、平成28年度は南薩地域で開催する。各地域の持ち回りで開催することにより、地域間の協力体制の強化を図る。

8. 各研究会の実施

消化管研究会、放射線治療研究会、CT研究会、MR研究会、鹿児島乳腺画像研究会、鹿児島超音波研究会、鹿児島X線撮影研究会を県の事業とし、研究会の充実を図るとともに非会員に対して入会の勧誘を積極的に行う。また、各研究会の活動が充実していくための助成を行い、CT研究会、MRI研究会に関しては各地域でも開催できるよう企画する。

9. 管理士部会による研修会開催

安全で質の高い医療を提供するためには、放射線管理・機器管理・画像情報管理を適

正に行うことが不可欠である。これらの管理は、日々の業務の中で継続的に実践することが重要である。より効率的な管理を行ううえで必要な講習会を管理士部会主催で開催する。

10. 第5回鹿児島さくらRTの集い

鹿児島県内の女性診療放射線技師が集い研修会を行う。今年度は5回目の開催予定である。

11. ホームページの活用促進

ホームページの更新に伴い内容の充実を図り、会員、県民に積極的に情報を発信する。また各支部からも情報発信しやすいシステムを構築する。また、メールアドレス、ファックス番号を公開し、公益社団法人として一般市民からの問い合わせに応じる体制作りを考える。

12. 各種イベント等への積極的参加・協力

他関係団体との共催である市民健康まつり等に積極的に参加し、他職種との連携を深めるとともに公益社団法人としての社会的役割を果たす。

- ・「つながる想い in かごしま」に参加。パネル展示、放射線相談、骨密度測定等で協力予定。
- ・第33回市民健康まつり
今年度は従来通りブースを設定して診療放射線技師会並びに診療放射線技師の啓発活動を行う。超音波による骨密度測定も予定する。

13. 原子力防災支援

原子力災害時に適正かつ迅速に対応するために必要な研修に出席する。また、県が開催する原子力防災訓練に参画し、放射線に関する専門家としての放射線技師の存在を誇示していく。

14. 地域保健協力事業

鹿児島市医師会より委託を受けた鹿児島市夜間救急センター放射線業務に対して、診療放射線技師を派遣する。業務の安全ならびに質の高い画像情報を提供するために必要な連絡調整会議や研修会を開催する。

15. その他の事業

環境測定事業	環境測定を放射線管理士部会の組織下に置き、事業の見直しを検討する。各施設からの依頼を受け、環境測定を実施するとともに、放射線施設や機器の安全性に関する指導を行う。
出版事業	会報を2回発行するとともに、緊急連絡が必要な場合にはニュースを発行する。編集委員を設置し内容の充実を図るとともに表紙デザインの変更を検討する。また、会員からの投稿も積極的に勧誘し掲載していく。
組織拡大事業	各種の行事に非会員も参加させ、入会の勧誘を行う。
関連団体との連携	公益社団法人日本診療放射線技師会や関連団体と協力し、歩調を合わせて進むことにより連携を強化していく。

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
平成28年度収支予算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

I. 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部

(単位:円)

経常収益	前年度予算額			予算額			増 減	備 考
	公益目的	法人会計	費用計	公益目的	法人会計	費用計		
受取会費	1,923,000	1,282,000	3,205,000	1,797,600	1,198,400	2,996,000	△ 209,000	
正会員会費	1,911,000	1,274,000	3,185,000	1,797,600	1,198,400	2,996,000	△ 189,000	70歳以上除外 428人分/437人
準会員会費	12,000	8,000	20,000	0	0	0	△ 20,000	本年度よりなし
事業収益	770,000	0	770,000	930,000	0	930,000	160,000	
研修会会費収入	50,000	0	50,000	120,000		120,000	70,000	研修会・研究会の非会員参加費
広告収入	360,000	0	360,000	450,000		450,000	90,000	15社×30000円
環境測定事業収入	360,000	0	360,000	360,000		360,000	0	
業務委託費	60,000	0	60,000	75,000	0	75,000	15,000	
日本放射線技師会業務委託費	60,000	0	60,000	75,000	0	75,000	15,000	9月会費完納者数×200円
受取負担金	292,000	0	292,000	292,000	0	292,000	0	
市医師会負担金	292,000	0	292,000	292,000	0	292,000	0	夜間急病センター研修委託費
雑収益	160,000	0	160,000	410,000	0	410,000	250,000	
受取利息	10,000	0	10,000	10,000	0	10,000	0	
雑収益	150,000	0	150,000	400,000	0	400,000	250,000	
	3,205,000	1,282,000	4,487,000	3,504,600	1,198,400	4,703,000	216,000	

経常費用	公益目的	法人会計	公益目的	法人会計	増 減	備 考	
事業費 会議費	0		0		0		
旅費交通費	450,000		450,000	500,000	50,000		
通信運搬費	250,000		250,000	170,000	△ 80,000		
消耗什器備品費	200,000		200,000	100,000	△ 100,000		
消耗品費	120,000		120,000	30,000	△ 90,000		
修繕費	20,000		20,000	20,000	0		
印刷製本費	600,000		600,000	550,000	△ 50,000		
燃料費	20,000		20,000	20,000	0		
光熱水料費	42,000		42,000	80,000	38,000		
賃借料	250,000		250,000	300,000	50,000		
保険料	10,000		10,000	50,000	40,000		
諸謝金	800,000		800,000	930,000	130,000		
租税公課	50,000		50,000	50,000	0		
雑費	150,000		150,000	150,000	0		
減価償却費	830,000		830,000	830,000	△ 20,000		
管理費 会議費		100,000	100,000	100,000	100,000	0	
旅費交通費		250,000	250,000	200,000	200,000	△ 50,000	
通信運搬費		45,000	45,000	150,000	150,000	105,000	
消耗什器備品費		80,000	80,000	80,000	80,000	0	
消耗品費		40,000	40,000	60,000	60,000	20,000	
修繕費		30,000	30,000	20,000	20,000	△ 10,000	
印刷製本費		100,000	100,000	100,000	100,000	0	
燃料費		20,000	20,000	20,000	20,000	0	
光熱水料費		28,000	28,000	90,000	90,000	62,000	
賃借料		15,000	15,000	150,000	150,000	135,000	
保険料		73,000	73,000	30,000	30,000	△ 43,000	
諸謝金		300,000	300,000	350,000	350,000	50,000	
租税公課		83,000	83,000	45,000	45,000	△ 38,000	
雑費		100,000	100,000	300,000	300,000	200,000	
減価償却費		190,000	190,000	190,000	170,000	△ 20,000	
	3,792,000	1,454,000	5,246,000	3,780,000	1,885,000	5,665,000	419,000

2. 経常外増減の部

評価損益等調整前当期経常増減額	△ 759,000		△ 962,000	△ 203,000
基本財産評価損益等				0
特定資産評価損益等				0
投資有価証券評価損益等				0
評価損益等計	0		0	0
当期経常増減額	△ 759,000		△ 962,000	△ 203,000
				0
(1)経常外収益				0
中科目別記載				0
経常外収益計	0		0	0
(2)経常外費用				0
中科目別記載				0
経常外費用計	0		0	0
当期経常外増減額	0		0	0
他会計振替額				0
当期一般正味財産増減額	△ 759,000		△ 962,000	△ 203,000
一般正味財産期首残高	29,650,000		29,256,000	△ 394,000
一般正味財産期末残高	28,891,000		28,294,000	△ 597,000
				0
受取補助金等				0
.				0
一般正味財産への振替額				0
当期指定正味財産増減額	0		0	0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高	0		0	0
	28,891,000		28,294,000	△ 597,000

入会者

平成28年度4月～7月 新入会員

会員番号	氏名	勤務先	地域
63828	丹羽 慶彰	鹿児島大学病院	鹿児島
63829	永田 阿由子	米盛病院	鹿児島
63747	高山 大史	今村病院分院	鹿児島
63904	寒水 諒	大隅鹿屋	鹿屋
63991	田中 裕二	加治木整形外科病院	霧島始良
63990	福留 慎也	米盛病院	鹿児島
63989	田辺 亮	米盛病院	鹿児島
63988	井上 美香	指宿さがら病院	南薩
64148	松崎 友香	霧島市立医師会医療センター	霧島始良
64149	今村 正吾		
64150	元 彩香	鹿児島県民総合保健センター	鹿児島
64187	白尾 朱梨	鹿児島大学病院	鹿児島
64233	篠原 卓也	アクラス中央病院	鹿児島
64294	前嶋 正徳	鹿児島医療センター	鹿児島
64504	鹿島 裕太郎	鹿屋医療センター	鹿屋
64505	川上 眞司	今村病院分院	鹿児島
64506	平山 淳一	厚地脳外科	鹿児島
64507	笠野 嗣敏	厚地記念病院	鹿児島
64577	山元 清史	厚地脳神経外科病院	鹿児島
64578	佃 良平	青雲病院	霧島始良

仕事とスポーツ

(医) 杏林会 丸田病院
岡野 三郎

リオオリンピックで早起きができ目覚めがスムーズになりました。
勉強は大嫌いですがスポーツは見るのもするのも大好きです。
特にボールを扱う競技が好みです。
串木野は昔から剣道が盛んであったことから私も誠道館という道場で10歳から始め40歳ぐらいまで剣道が続けて社会人になっても県市町村対抗大会や試合の審判員とか警察・消防・教員・学生などと体力作りと昇段のために稽古しました。
しかし、現在勤務する病院と医師会立病院の両方かけもちであったために時間の余裕が無くなったことと息子3人が剣道ではなくサッカーを選択したために剣道離れになりました。
技師仲間でも自宅の庭に空手道場を開き指導者の人、少年ソフトボールの監督しながら高校野球の息子をもつ人、趣味の領域を超えたゴルフ大道楽先輩、夫婦で登山愛好家、現役の社会人チームサッカープレイヤーの人など多種多様のスポーツを趣味とか特技にしています。
北薩地域では少年サッカー監督やコーチなど指導者、またはサッカー父兄会や後援会などのサポーターも多いです。
私も子供3人が幼稚園からサッカー三昧だったため長年、後援会長や父兄会長など終えてホッとしました。
しかし、私の三男坊、亮真が小学時に串木野FC（フットボールクラブ）で友人の赤崎秀平君、現在は鹿島アントラーズ在籍（FW・25歳）の後援会長を串木野FC総監督とOB会などに頼みこまれ3年が過ぎました。
年始の宮崎キャンプやアントラーズが大阪、神戸、広島、博多、鳥栖でのアウェー試合などサポーターで忙しい日々です。
若い頃は学会場へ足を運んでましたが、今ではJリーグ戦や天皇杯、ナビスコカップ、キャンプ地など後援会長として色々な試合会場やイベント会場へ足を運びサッカー関係者との触れ合いが楽しいです。
長男の拓真もガンバ大阪の岩下敬輔（DF・30歳、鹿実全国選手権優勝時主将）と小学選抜チームメイトだったことやユナイテッド鹿児島の友人などサッカー関係者とも交流も増えました。
サッカーはマロンドール（世界最優秀選手）のメッシのようにドリブルなどボールさばきが上手で技術的に高いファンタジスタなプレーが魅力です。X線撮影や消化管造影検査、超音波検査などの手技もサッカー同様に装置さばきを上手に撮影技術の魅力を生かせば所見描出など診断価値の高い画像提供になります。私の知人でサッカーが上手になりたいために海外サッカーへ武者修行したの人もいます。本物志向になるには上手な人に習う。師に3年とか言います。
私は約30年前から二人の師匠がいます。消化管透視は消化器X線診断学で世界をリードしてきた白壁先生の孫弟子のT・Iさん・・・
超音波検査は超音波装置の開発、研究に着手された竹原先生を師匠とする愛弟子のS・Iさんです。有難うございました。お世話になりました。

誠に申し訳ございませんが、この場をお借りして2人の師匠にお礼と鹿島アントラーズ赤崎秀平選手を紹介いたします。

【赤崎秀平選手プロフィール】

高校入学は親元を離れ県立佐賀東高校へ、高校No1ストライカーと称され、浦和レッズのオファーを断り筑波大学へ進学する。父（現在は大隅地域の中学校長）の影響で教員を目指していたが、大学No1ストライカーと称された大学4年で鹿島アントラーズ特別指定選手となり、卒業時には正式な書面のオファーだけでも鹿島アントラーズ、浦和レッズ、清水エスパルス、海外ではロシアリーグのルビン・カザンなどオファーの話まで入れると多くのチームからありましたが、その中でJリーグ発足以来、タイトルが一番多い常勝軍団、日本代表を多く輩出していることとフロントがしっかりしている鹿島アントラーズを選択し入団しました。（本人の弁）プレースタイルは相手選手の視野から消えスペースをつくりオフザボールで勝負する動きの質に自信を持つストライカーで相手DFの裏に動きだしが良くボールを引き出すのが上手です。代表歴はU-18日本代表、ユニバーシアード日本代表など数多くあり、更なる活躍が期待されます。

【代表歴・成績】

・佐賀東高校

全国高校総体3年連続出場（インターハイ）

2009年 全国高校総体3位 優秀選手

全国高校選手権2年連続出場

2009年 全国高校選手権 高校No1ストライカー

東海学園戦ハットトリック

2008～2010 全国高校選手権にて計10得点10アシスト

2009年 U-18日本代表

2009年 天皇杯2試合1得点

2010年 日本高校選抜選手

・筑波大学

2010年 関東1部リーグ 1年生で得点王・ベストイレブン・新人王

2010～2013年 全日本大学選抜選手

2011年 ロンドン五輪アジア最終予選登録メンバー

2011年 日本大学選抜ユニバーシアード 深圳大会優勝

2011年 天皇杯2試合1得点

2012年 関東1部リーグ 慶応大学戦にて1試合6得点

2012年 関東1部リーグ 得点王

2012年 天皇杯 2試合2得点

2013年 鹿島アントラーズ特別指定選手(背番号36)

2013年 8月3日J1第19節大宮アルディージャ戦にてデビュー

2013年 天皇杯 2試合 3得点

・Jリーグ

2014年 鹿島アントラーズ入団 (背番号18)

クラブ大卒加入者リーグ戦最多得点 (5得点)

2015年 鹿島アントラーズ ヤマザキナビスコカップ優勝

ニューヒーロー賞受賞

歴代受賞者 (2014年、宇佐美貴史・2013年、齋藤学)



会計だより

28年度会費納入に関するお願い

本年も鹿児島県診療放射線技師会においては、引き続き日本診療放射線技師会費との合算請求を行っております。

本年度の会費請求者リストはすでに昨年度末JART宛てに送付済みですが、年度末に会費を納入された方は行き違いで昨年度分会費が未納扱いになっている可能性がありますことをあらかじめご了承くださいますと共にご不明な点等がございましたらご連絡をお願いいたします。

会費納入は期限内（9月末日）までに納入していただきますようお願いいたします。

会費免除に関する規定について

鹿児島県診療放射線技師会では公益法人移行を機に満70歳に達した会員の翌年度以降の会費を免除することとなっております。

また事務的手続きを簡素化するためにも九州地域放射線技師会費についても同様の方針で対処させていただきます。

漏洩線量測定事業のご案内

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会では、放射線を取扱う専門職として資格を有する団体の一般社会への利益還元事業と公益事業の一環として、放射線安全管理の啓発を兼ねた環境測定事業を実施しています。基本的には、該当施設会員と放射線管理士部会からの派遣技師と2名で実施する予定です。法令で規定してある測定はX線検査室の周囲だけではなく敷地内病室、居住区域、敷地境界も測定しなければなりません。その測定方法及び測定値の取扱いについての説明も致します。また、測定事業に併せて施設の放射線管理のアドバイスも行っております。些細な事でもご相談ください。

料金は、会員がいる施設が、基本料金2万円+測定料金1方向5千円、会員がいない施設は基本料金4万円、ただし、歯科医院等の場合は、基本料金は2万円となっております。2回目以降継続される場合は、測定料金が5%（最大20%まで）ずつ安くなります。

測定希望の施設がありましたら、見積等をご提示しますので、

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会事務局 鹿児島大学病院 臨床技術部放射線部門
放射線管理士部会 担当 藤崎まで、下記電話、メールにてご紹介、お問い合わせ下さい。

☎099-275-5664 ✉kartgakujutu@yahoo.jp

編集後記

リオデジャネイロオリンピック、小池東京都知事誕生と大きな出来事が続いています。鹿児島県においても三反園県知事誕生、観測以来最高気温37.4℃を記録など印象深い年となっています。技師会活動としては業務拡大に伴う統一講習会が着々と進められ、さらに先日の衆議院議員選挙において、放射線技師による国政への挑戦がありました。今後、放射線技師が国政へ足を踏み入れる一歩へ繋がったことと思います。

理事・監事

役職名	氏名	勤務先施設名	勤務先電話番号
会長	松本 俊也	鹿児島大学病院	099-275-5664
副会長	太田原 美郎	鹿児島市立病院	099-230-7000
副会長	島兒 未治	垂水市立医療センター垂水中央病院	0994-32-5111
表彰理事	太田原 美郎	鹿児島市立病院	099-230-7000
学術理事	藤崎 拓郎	鹿児島大学病院	099-275-5664
学術理事	松野下 直美	徳久整形外科	0993-53-4311
学術理事	藤崎 誠	鹿児島共済会南風病院	099-226-9111
学術理事	浮田 啓一郎	今給黎総合病院	099-226-2211
財務理事	中島 祐二	鹿児島大学病院	099-275-5664
福利厚生理事	西 憲文	鹿児島厚生連病院	099-252-2228
編集・広報理事	吉村 洋一	鹿児島市医師会病院	099-254-1125
組織理事	佐藤 洋一	鹿児島市立病院	099-230-7000
総務理事	渡邊 義治	清泉クリニック整形外科 鹿児島	099-223-1936
総務理事	小磯 美奈	鹿児島大学病院	099-275-5664
総務理事	藤坂 智史	鹿児島大学病院	099-275-5664
鹿児島地域理事	坂下 周一郎	鹿児島大学病院	099-275-5664
北薩地域理事	岡野 三男	丸田病院	0996-32-2263
霧島・姶良地域理事	平賀 真雄	霧島市立医師会医療センター	0995-42-1171
大隅地域理事	島兒 未治	垂水市立医療センター垂水中央病院	0994-32-5211
大島地域理事	中山 龍一	鹿児島県立大島病院	0997-52-3611
南薩地域理事	野中 康博	医療法人 菊野会 菊野病院	0993-56-1135
監事	池田 睦	医療法人 南和会 白坂病院	099-255-3161
監事	宮寄 信		

会長活動記録

日付	内容	場所
2015.06.06	日本診療放射線技師会総会	東京
2015.06.21	鹿児島県診療放射線学術大会	大学病院 保健学科
07.04から07.05	日本核医学技術学会地方会熊本大会	国際交流会館
2015.07.11から07.12	新任会長会議	東京・AP浜松町
2015.07.08	FRT開催会場変更のため医療センター	鹿児島医療センター
2015.07.18	リーダー研修会	臨床講義室
2015.07.25	霧島地域研修会	南九州病院 研修室
2015.08.01	第二回FRT九州	アイムビル 4F
2015.08.05	鹿児島市民健康祭り打ち合わせ	医師会館
2015.08.07	鹿児島地域研修会	第2臨床講義室
2015.08.08	大隅地区研修会	大隅鹿屋病院
2015.08.20	坂元事務所当番	坂元事務所
2015.09.08	第2回常務理事会	坂元事務所
2015.09.11	九州地域放射線技師研修会打ち合わせ	大学病院
2015.09.12	平成27年度九州地域放射線技師研修会	パレスインホテル
2015.09.19	南薩地域研修会	九州ウエルフェア
2015.09.26	第2回理事会	ホテルタイセイアネックス会議室
2015.10.4	鹿児島市民健康祭り	アリーナ
2015.10.31から2015.11.01	第10回九州放射線医療技術学術大会	宮崎観光ホテル
2015.11.5	レントゲン展プログラム掲示依頼	市立図書館・黎明館・県立図書館
2015.11.10	第3回常務理事会	坂元事務所
2015.11.14	第24回北薩地域研修会	寺田病院
2015.11.20から2015.11.23	第31回日本診療放射線技師学術大会	国立京都国際会館
2015.11.27	業務提携書類発送	鹿児島大学病院
2015.12.3	原子力防災訓練打ち合わせ	吹上中央公民館
2015.12.12	原子力防災訓練用備品配達	出水総合医療センター
2015.12.20	レントゲン展	県民交流センター
2015.12.27	坂元事務所大掃除	坂元事務所
2016.01.09	第5回 鹿児島X線撮影研究会	鹿児島大学病院
2016.01.16	第32回鹿児島核医学技術検討会	Nプラザ
2016.01.18	経営勉強会	市立病院
2016.01.24	業務拡大による統一講習会	鹿児島大学病院
2016.01.26	市民健康まつり	医師会館
2016.01.30	霧島・始良地域研修会	霧島医療センター
2016.02.06から2016.02.07	大島地域研修会・秋季大会	県立大島病院
2016.02.11	中間監査	坂元事務所
2016.02.13から2016.02.14	九州地域会長会議	佐賀 東横ホテル
2016.02.16	第4回常務理事会	坂元事務所
2016.02.24	坂元事務所当番	坂元事務所
2016.03.04	入会説明会	鹿児島島医療専門学校
2016.03.25	あげもとしょうごを囲む会	福岡 ビッツ5
2016.03.26	平成27年度機器管理部会研修会	鹿児島大学病院 臨床実習室
2016.03.27	合同理事会 あげもと彰吾応援説明会	鹿児島大学病院 臨床実習室
2016.04.06	第1回 第12回学術大会準備委員会	鹿児島大学病院 放射線部 研修室
2016.04.13	つながる想い 事務局代表者挨拶	鹿児島大学病院
2016.05.14	つながる想いin鹿児島	鹿児島市立病院
2016.05.15	監査	坂元事務所
2016.05.22	フレッシューズセミナー	鹿児島大学病院 臨床実習室
2016.05.28	さくらRT	南風病院
2016.06.10	代議員研修会	東京
2016.06.11	代議委員会	日経ビル 3F
2016.06.19	鹿児島県診療放射線技師会総会・学術大会 第1回理事会	鹿児島大学病院 インテリジェント室
2016.07.02	九州心臓核医学研究会	福岡・博多
2016.07.09	リーダー研修会・第2回理事会	アネックスホテル
2016.07.16から2016.07.17	第14回全国X線撮影技術読影研究会	米盛病院
2016.07.23	九州核医学技術学会総会・PET研究会	福岡・博多交通センタービル
2016.07.26	市民健康まつり実行委員会	医師会館
2016.07.30	九州FRT	佐賀

広告掲載一覧（順不同）

会社名	郵便番号	住 所
東洋メディック株式会社 福岡支店	812-0007	福岡県福岡市博多区東比恵2-2-40 コロナ福岡ビル4F
バイエル薬品株式会社	892-0847	鹿児島市西千石町11-25 鹿児島フコク生命高見馬場ビル2F
富士フィルムRIファーマ株式会社 福岡支店	812-0018	福岡市博多区住吉三丁目1番1号 富士フィルム福岡ビル
株式会社メディソンアコマ西日本販売	812-0065	福岡市東区二又瀬新町13番17号
GEヘルスケアジャパン株式会社 鹿児島営業所	890-0062	鹿児島県鹿児島市与次郎2丁目4-35 KSC鴨池ビル3F
株式会社 日立製作所	841-9111	佐賀県鳥栖市藤木町4-5
南九州電子サービス株式会社 鹿児島営業所	890-0063	鹿児島市鴨池2丁目15-2
株式会社 舞研	891-0115	鹿児島市東開町4番94号
日本メジフィジックス株式会社 鹿児島営業所	892-0842	鹿児島市東千石町2番1号 (芙蓉ビル3F)
第一三共株式会社 鹿児島営業所	892-0847	鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第二ビル3F
株式会社ドクターネット	105-0012	東京都港区芝大門2丁目5-5 住友芝大門ビル12階

線量計の理想へ。 「RAMTEC Duo」誕生。

リファレンス線量計 RAMTECシリーズの
 第四世代機, RAMTEC Duoが誕生しました。
 独立したアンプを2台搭載したRAMTEC Duoは,
 2Ch同時測定を実現。
 高エネルギー放射線の水吸収線量計測において,
 外部モニタ電離箱を用いながらの
 フィールド電離箱の相互校正に対応する,
 まさに理想の線量計です。



東洋メディック株式会社

本 社：〒162-0813 東京都新宿区東五軒町2-13
 TEL. (03) 3268-0021 (代表) FAX (03) 3268-0264
<http://www.toyo-medic.co.jp/> E-mail info@toyo-medic.co.jp

大 阪 支 店：〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-25-7
 TEL. (06) 6441-5741 (代表) FAX (06) 6441-5745

福 岡 支 店：〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵2-2-40
 TEL. (092) 482-2022 (代表) FAX (092) 482-2027

支店・営業所：名古屋・札幌・新潟・仙台・岡山



非イオン性MRI用造影剤〈ガドブトロール注射液〉

ガドビスト[®] 静注1.0mol/L
 シリンジ5mL/7.5mL/10mL

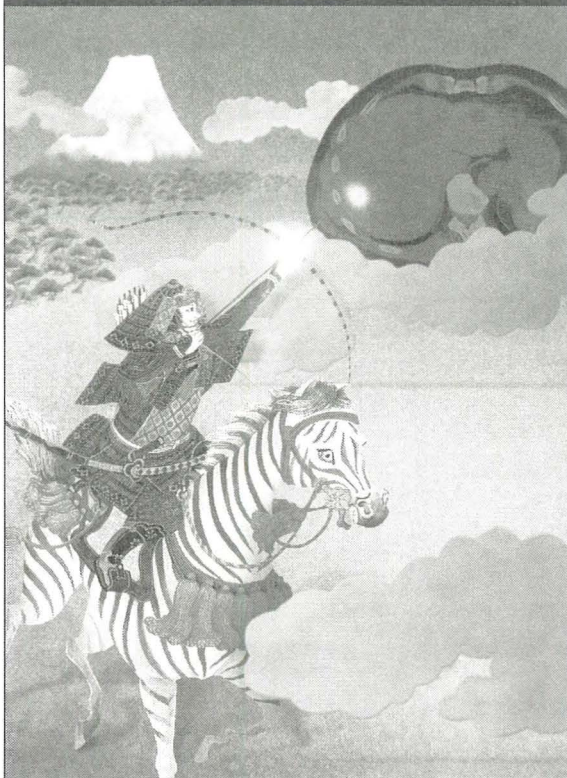
処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

薬価基準収載

※効能・効果, 用法・用量, 警告, 禁忌を含む使用上の注意につきましては製品添付文書をご参照ください。

資料請求先
バイエル薬品株式会社
 大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
<http://www.bayer.co.jp/byl>

FUJIFILM
Value from Innovation



放射性医薬品・神経内分泌腫瘍診断薬
処方箋医薬品*

薬価基準収載

オクトレオスキャン® 静注用セット

Octreoscan® Injection

インジウムペンテトレオチド (¹¹¹In) 注射液 調製用

*注意 - 医師等の処方箋により使用すること。

*「禁忌」、「効能・効果」、「用法・用量」、「使用上の注意」等については
添付文書をご参照ください。

製造販売元

富士フイルム RIファーマ株式会社

資料請求先：〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビル TEL.03(5250)2620
ホームページ：http://fri.fujifilm.co.jp

輸入先：Mallinckrodt Medical B.V.(オランダ)

2015年12月作成

在宅医療に適した
バッテリー搭載式ポータブルX線撮影装置
PX-20BT mini

**Kenko
Tokina**



持ち運びに最適な
軽量化・組み立て式支持器

PS-12

回診用X線撮影装置 各社FPDシステム対応

adore **MX-1100H**



画像診断機器・販売サービス 株式会社ケンコー・トキナーメディカルイメージング部製品販売店

株式会社 **メディソンアコマ** 西日本販売

〒812-0065 福岡市東区二又瀬新町13番17号 TEL.(092)621-0221 FAX.(092)621-0225
http://www.md-acoma.com メール info@md-acoma.com

GE Healthcare

世界で最も、 高齢者の笑顔が 輝いている国へ。

高齢者へのやさしさを追求し、
新たなソリューションを開発しています。

高齢社会を見つめた最適な医療の形が、いま求められています。
例えば、自宅と医療が密接につながった安心できる仕組みを。
年齢を重ねることによるリスクを、可能な限り低減できるテクノロジーを。
高齢者が、幸せで輝かしい人生を送れるような、
やさしい医療環境をサポートするために、
GEヘルスケアは皆さまとともに歩みつつけます。

Silver to Gold.

GEヘルスケア・ジャパン
カスタマー・コールセンター 0120-202-021 www.gehealthcare.co.jp

healthymagination



GE imagination at work



安全・安心を世界へ提供。 日立の放射線測定装置

放射能汚染はないか、放射線のレベルはどのくらいか、どれだけ放射線を受けたか、
それらは測定器で見ることができます。目的に応じた、豊富な機器をご用意しております。

HITACHI
Inspire the Next

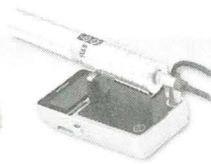
サーベイメータ



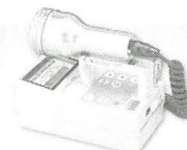
PDR-303



ICS-323C



TCS-1172



TGS-146B

サーベイメータ・ 電子ポケット線量計用 データ読取装置 マイクログラフター



SDM-301C

キョウメータ



IGC-8

γ線ウエル測定装置

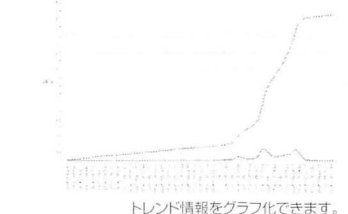


JDC-1711/1712

中央監視装置



MSR-3000



トレンド情報をグラフ化できます。
対応機種: PDM-222VC, PDM-227C, PDM-501

電子ポケット線量計

γ線測定用



PDM-122B



PDM-501 (高感度)



PDM-222VC
警報機能付

X(γ)線測定用



PDM-127B



PDM-227C
警報機能付

株式会社 日立製作所

www.hitachi.co.jp/healthcare

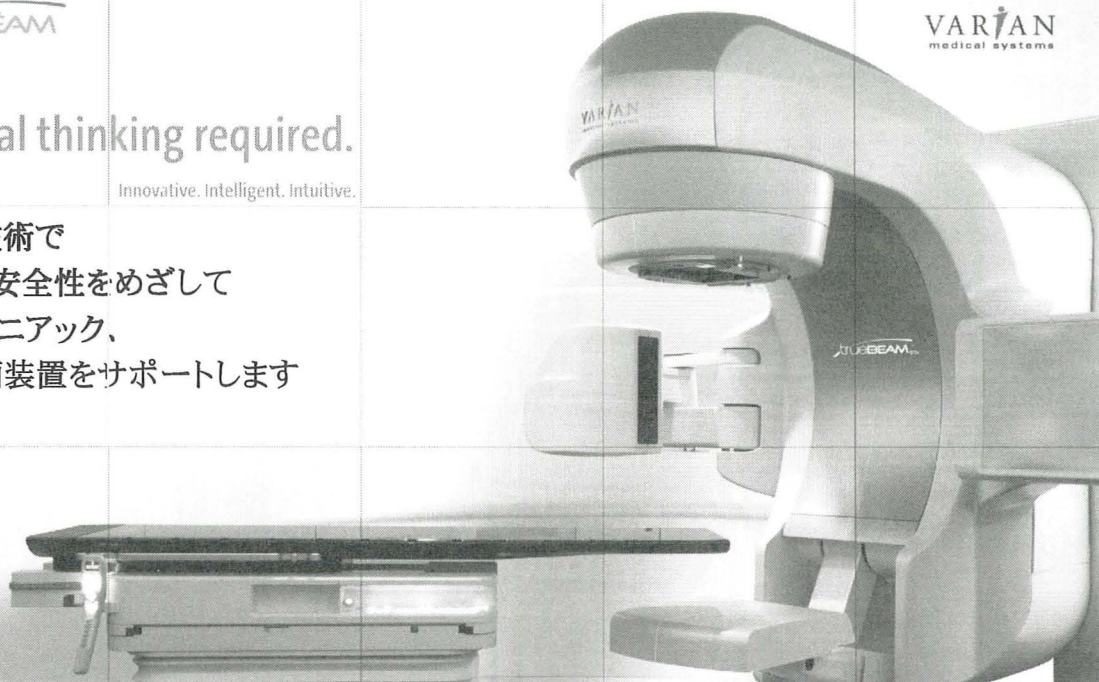
truBEAM

VARIAN
medical systems

Radical thinking required.

Innovative. Intelligent. Intuitive.

確かな技術で
より高い安全性をめざして
医療用リニアック、
治療計画装置をサポートします



南九州電子サービス株式会社
<http://www.mkds.co.jp>

宮崎本社 宮崎市広島1丁目1-10
TEL 0985-29-8371
鹿児島(営) 鹿児島市鴨池2丁目15-2
TEL 099-253-7397

Sound

Visual

Lighting

Art

BUKEN

株式会社 舞 研 〒891-0115
鹿児島市東開町4-94
TEL 099-266-2501 FAX 099-266-2601

www.buken.co.jp

放射性医薬品・局所脳血流診断薬 **薬価基準収載**

処方箋医薬品[※] **パービューザミン[®] 注**

放射性医薬品基準塩酸N-イソプロピル-4-ヨードアンフェタミン(¹²³I)注射液

注)注意-医師等の処方箋により使用すること

放射性医薬品・脳疾患診断薬 **薬価基準収載**

処方箋医薬品[※] **ダットスキャン[®] 静注**

放射性医薬品基準イオフルパン(¹²³I)注射液

注)注意-医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。 ®:登録商標

資料請求先

日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

製品に関するお問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトで SPECT 検査について紹介しています。

<http://www.nmp.co.jp>

2015年3月作成

日本薬局方 イオヘキソール注射液(バイアル製剤)

オムニパーク300注50mL・100mL(尿路・血管用)

オムニパーク350注50mL(尿路・血管用)

オムニパーク350注100mL(血管用)

イオヘキソール注(バイアル製剤)

オムニパーク240注20mL(尿路・血管用)

オムニパーク300注20mL(尿路・血管用)

オムニパーク350注20mL(尿路・血管用)

オムニパーク180注10mL(脳槽・脊髄用)

オムニパーク240注10mL(脳槽・脊髄用)

オムニパーク300注10mL(脊髄用)

イオヘキソール注(プラスチックボトル製剤)

オムニパーク140注50mL・220mL(血管用)

オムニパーク240注50mL・100mL(尿路・血管用)

オムニパーク300注50mL・100mL(尿路・血管用)

オムニパーク300注150mL(血管用)

オムニパーク350注50mL(尿路・血管用)

オムニパーク350注100mL(血管用)

日本薬局方 イオヘキソール注射液

オムニパーク240注シリンジ100mL(尿路・血管・CT用)

オムニパーク300注シリンジ50mL(尿路・CT用)

オムニパーク300注シリンジ80mL・100mL(尿路・血管・CT用)

オムニパーク300注シリンジ110mL・125mL・150mL(CT用)

オムニパーク350注シリンジ45mL・70mL・100mL(血管・CT用)

★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌および使用上の注意等の詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。

非イオン性造影剤

処方箋医薬品[※] **薬価基準収載**

オムニパーク[®]

OMNIPAQUE[®]

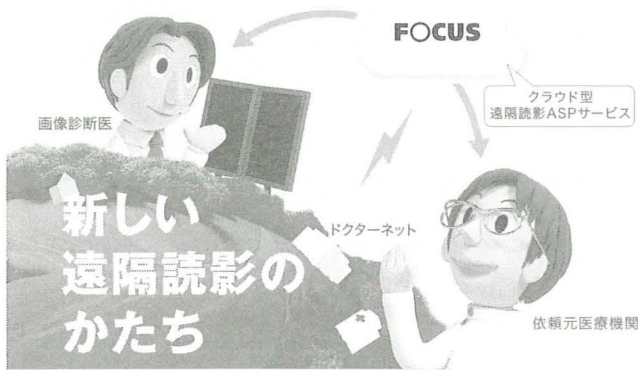
※注意-医師等の処方箋により使用すること

製造販売元(資料請求先)

第一三共株式会社

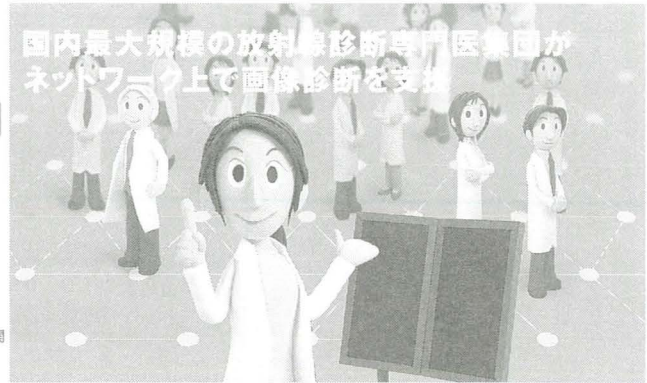
Daiichi-Sankyo 東京都中央区日本橋本町3-5-1

2015年9月作成



クラウド型遠隔読影ASPサービス [ヴァーチャルRAD]

 **Virtual-RAD**



遠隔画像診断支援サービス [テレRAD]

 **Tele-RAD**

ドクターネットの遠隔画像診断

遠隔画像診断を一貫したワークフローで考えるドクターネットなら、場面にあわせて選べます。

株式会社ドクターネット

本社 105-0012東京都港区芝大門2丁目5-5 住友芝大門ビル TEL: 03-3459-5665
宇都宮事業所 TEL: 028-657-8200 / 大阪事業所 TEL: 06-4862-5018 / 福岡事業所 TEL: 092-409-2760
www.doctor-net.co.jp

